

TestRail

チュートリアル

1. はじめに

本書について

このチュートリアルは、TestRail でテストを管理するために必要な TestRail の基礎知識と操作手順の習得を目的としています。

本書は TestRail 7.0.2.1016 で動作確認をしています。

画像の一部がご利用のバージョンとは異なるレイアウトである場合がございますが、特に指定がない場合はそのまま進めてください。ご不明な点がございましたら[お問い合わせ](#)ください。

本書内で使用しているマークはそれぞれ次の意味を持ちます。

- **! Caution !** : TestRail の使用方法において注意が必要な情報を示します。
- **★Information★** : 該当の章に関連する参考情報、補足情報を示します。
- **◆ Practice ◆** : 提示される操作手順に合わせて TestRail を操作してください。

前提

このチュートリアルは、以下の事項が実施されていることを前提としています。

TestRail がインストールされている

TestRail のシステム要件、インストール方法については TestRail 管理マニュアルをご参照ください。

- [要件](#)
- [Windows へのインストール](#)
- [Unix/Linux へのインストール](#)
- [Docker へのインストール](#)

TestRail のライセンスが有効である

TestRail のライセンスが有効期限内であることをご確認ください。

利用可能な TestRail ユーザーアカウントを持っている

TestRail にログイン可能なユーザーアカウントを用意してください。

チュートリアル内の一部の操作を行うには ユーザーが **管理者** である必要があります。

TestRail データの日本語化について

本書は TestRail データベースの一部のデータを日本語に翻訳した環境で作成しています。

チュートリアル内の手順で示す項目名、および画面ショットを本書と合わせるには以下の手順でデータを日本語化してください。

- **Windows 環境**

testrail_convert_ja_sqlserver.sql をご利用環境の SQLServer の TestRail 用データベースで実行してください。



[testrail_convert_ja_sqlserver.zip](#)

- **Unix/Linux 環境**

testrail_convert_ja_mysql.sql をご利用環境の MySQL の TestRail 用データベースで実行してください。



[testrail_convert_ja_mysql.zip](#)

2. 概要

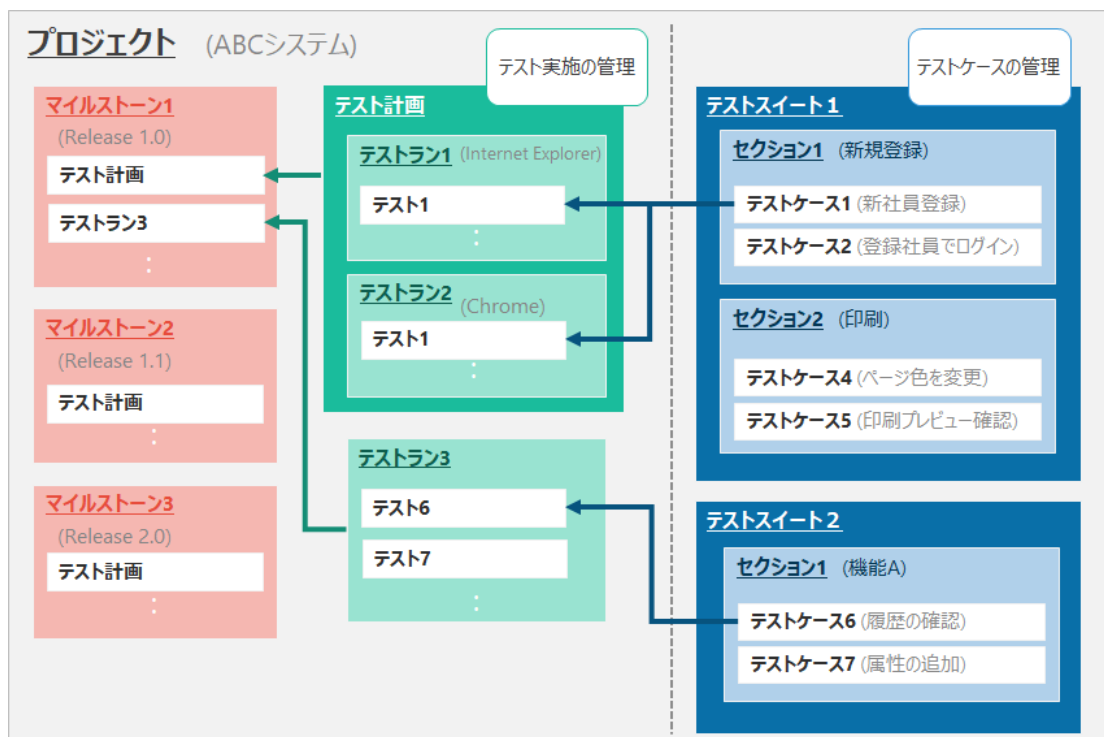
TestRail は Web ベースのテスト管理ツールです。

テスター、開発者、およびチームリーダーは TestRail を使用してテスト作業を管理、追跡、整理できます。

本章では TestRail におけるテスト管理の仕組みについて説明します。

TestRail のテスト管理

TestRail では下の図のように、プロジェクトごとにテストを管理します。



説明

TestRail ではテストケースとテスト実施(テスト結果)を分けて管理します。

- 管理対象のテストケース群をテストスイートとしてまとめて管理します。これはテスト仕様に相当します。
- テストを実行する際は、テストスイートからテスト対象のテストケースを選択し、テストランを作成します。

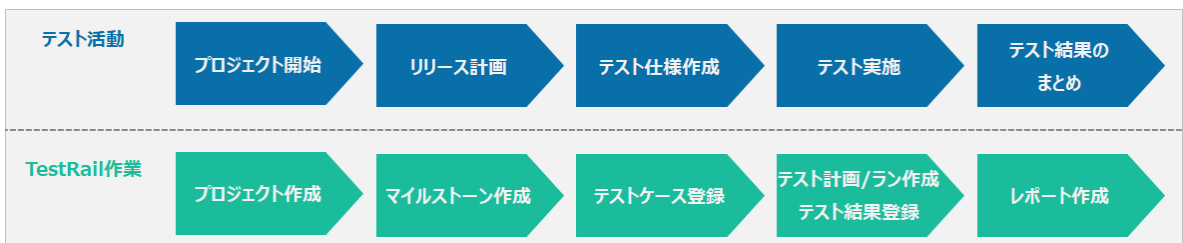
また、テスト実施はマイルストーンやテスト計画といった特定のリリースやテストでグルーピングすることができます。

用語

用語	意味
プロジェクト	システムや開発プロジェクトなどの単位で作成します。
テストケース	1つのテストの内容。 前提条件、テスト手順、期待する結果を管理します。
テストスイート	テストケースをまとめたもの。 モジュールや機能などテストケースを分けて管理したい単位で作成します。
テスト	テストケースの実施を管理します。 実施状況はステータス(Passed,Failed など)で管理されます。
テストラン	テストをまとめたもの。 テストスイートから実施するテストケースを選択して作成します。
テスト計画	テストランをまとめたもの。 複数のテストランを関連付けて管理する場合や複数の構成(OS やブラウザなど)で同じテストする場合に使用します。
マイルストーン	リリースバージョン。 アプリケーションのベータ版リリース、顧客向けリリースなどの単位で作成します。

TestRail のテスト管理フロー

TestRail では以下の図で示すように開発プロジェクトのテスト活動に合わせてテスト管理を行います。



3. プロジェクト作成

TestRail におけるテスト管理はプロジェクト単位でおこないます。

本章では TestRail のプロジェクト作成について説明します。

○TestRail 作業位置○



☆Information☆

「プロジェクト作成」は管理者の権限が必要です。事前に、利用する TestRail ユーザーが管理者であることを確認してください。

ログイン

◆ Practice ◆

TestRail にログインします。

ログインには、ユーザーメールアドレス/パスワードが必要です。

TestRail QA
アカウントにログイン

電子メール

パスワード [パスワードを忘れた場合](#)

ログインしたままにする

ログイン

v5.7.1.4028

ダッシュボード

TestRail にログインすると、ダッシュボードが表示されます。

ダッシュボードには、ログインユーザーが利用可能なプロジェクトの概要、プロジェクトの最近の活動、および TODO が表示されます。

(プロジェクトが1つも作成されていない場合は何も表示されません。)

ダッシュボードから特定のプロジェクトを選択するとプロジェクトにおけるテスト活動を進めることができます。



プロジェクト作成方法

◆ Practice ◆

プロジェクトを作成します。

- ダッシュボード画面右上の「プロジェクトの追加」ボタンを押下します。



- 「プロジェクト追加」画面でプロジェクトの情報を登録します。
 - プロジェクトタブ: プロジェクトの基本情報を登録します。
 - 名前: Tutorial Project
 - お知らせ: チュートリアル用のプロジェクトです。

3. 概要ページにお知らせを表示: チェック ON
 4. プロジェクト形式: 複数テスト スイートを使用してケースを管理する
- 「プロジェクトの追加」ボタンを押下してプロジェクトの作成が完了します。

TestRail QA
作業中 | iaro technmat

ダッシュボード

プロジェクトの追加

プロジェクト
アクセス
欠陥
参照

名前 * ①

例: New Widget, Intranet, Payroll Software

お知らせ ②

チュートリアル用のプロジェクトです。

プロジェクト概要ページにお知らせを投稿できます。たとえば、プロジェクトの課題トラッカーやナレッジベースへのリンクなどを含めることができます。

概要ページにお知らせを表示 ③

Info
Test Cases
Reports

Spell Checker

ID	Title
C348	Test conditional formatting with basic value
C349	Format table with built-in style
C350	Apply sort routine to complex table with diff

Master
Run, Test | Test, Run | Edit

Contains 19 sections with 286 test cases.

Baselines

Version 2.4
Contains 24 sections with 298 test cases.

Document Editing

Documentation

File Formats

Printing & Export

- ④ 複数のテスト スイートを使用してケースを管理する

複数のテスト スイートは、テスト ケースを機能領域やアプリケーション モジュールごとにテスト スイート レベルで分類するのに便利です。これは、従来の TestRail のモードであり、アップグレードされたプロジェクトの場合は自動的にこのモードが使用されます。
- すべてのケースについて単一リポジトリを使用する (推奨)

単一テスト スイート (リポジトリ) は管理が容易で、並行バージョンが 1 つもないか少数しかないプロジェクトに対応する十分な柔軟性を備えています。テスト ケースをさらに分類するには、セクションやサブセクションを利用できます。
- ベースライン サポートありの単一リポジトリを使用する

同時に複数のテスト ケース ブランチを管理する場合、ベースライン 作成オプション付きの単一テスト スイート (リポジトリ) を使用します。これは、並行して複数のプロジェクト バージョンをテストする必要がある場合に最適です。

プロジェクトの追加
 キャンセル

【参考】プロジェクト形式について

☆Information☆

TestRail には 3 つのプロジェクトタイプがあり、それぞれテストケースを管理する方法が異なります。

1. すべてのケースについて単一リポジトリを使用する

プロジェクト内のすべてのテストケースを一つのテストスイート(リポジトリ)で管理するプロジェクトタイプです。

テストスイート内のセクションやサブセクションを使用することでテストケースを分類することができます。

プロジェクトの構成がシンプルであり、テストランやテスト計画の作成、プロジェクト全体のレポート作成を簡単に行うことができるプロジェクトタイプです。

テストスイートをバージョン管理する場合は、2.の「ベースラインサポートありの単一リポジトリ」を利用してください。

2. ベースライン サポートありの単一リポジトリを使用する

プロジェクト内のすべてのテストケースを一つのテストスイート(リポジトリ)で管理するプロジェクトタイプです。

テストスイート内のセクションやサブセクションを使用することでさらにテストケースを分類することができます。

テストスイート全体をベースラインとして保持する(バージョン管理する)ことができ、いつでも必要なベースラインのテストケースを使うことができます。

並行開発などプロジェクトで複数バージョンのテストを管理する必要がある場合や、以前のバージョンのテストを実施することがある場合はこのプロジェクトタイプを利用します。

3. 複数テスト スイートを使用してケースを管理する

テストプロジェクト内のテストケースを複数のテストスイート(リポジトリ)で管理するプロジェクトタイプです。

テストスイート内のセクションやサブセクションを使用することでさらにテストケースを分類することができます。

テストケースを機能やテスト手法で分けて管理したい場合はこのプロジェクトタイプを利用します。

一部のレポートはテスト スイート単位で生成されます。プロジェクト全体の情報を確認するには、テストスイート数分のレポート生成が必要です。

! Caution !

UIテスト自動化ツール Ranorex と連携する際、Ranorex のテストスイートに合わせてテストを分けて管理するには、「**複数テストスイートを使用してケースを管理する**」である必要があります。

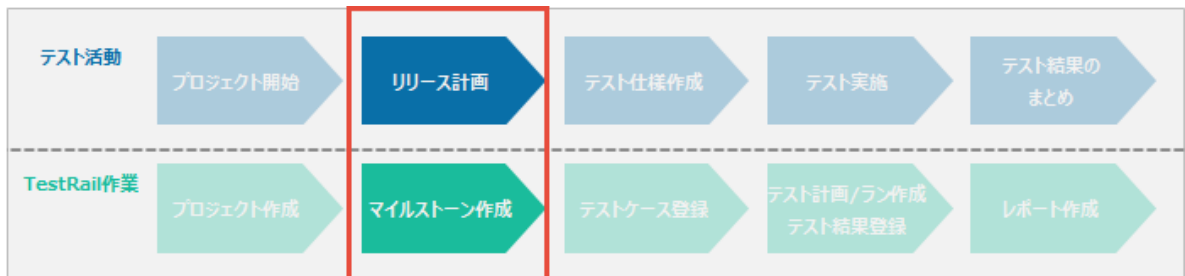
4. マイルストーン作成

TestRail のプロジェクトでは、開発プロジェクトのリリースやスプリントに合わせてマイルストーンを作成することができます。

テストの実施を管理する「テストラン」をマイルストーンに関連付けるとマイルストーンごとのテスト結果と進捗状況を簡単に確認できます。

本章では TestRail のマイルストーン作成について説明します。

○TestRail 作業位置○



★Information★

「マイルストーン作成」はプロジェクトに対してマイルストーンの「追加/編集」権限が必要です。事前に、利用する TestRail ユーザーがプロジェクトに対してマイルストーンの「追加/編集」権限を付与されたロールであることを確認してください。

マイルストーン作成方法

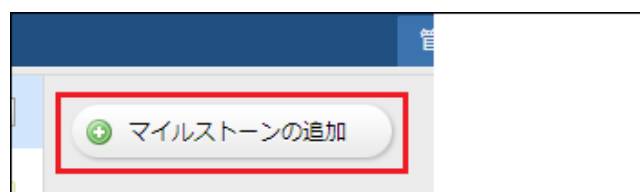
◆ Practice ◆

マイルストーンを作成します。

- プロジェクトの「マイルストーン」タブを開きます。



- マイルストーン画面右上の「マイルストーンの追加」ボタンを押下します。



- 「マイルストーンの追加」画面でマイルストーンの登録情報を入力後、「マイルストーンの追加」ボタンを押下してマイルストーンを作成します。
 - 名前: Version 1.0
 - 説明: チュートリアル用のマイルストーン Version1.0 です。
 - 開始日: 2020/01/20 (任意の開始日に変更してください。)
 - 終了日: 2020/04/20 (任意の終了日に変更してください。)

ダッシュボードに戻る

Tutorial Project

概要 TODO **マイルストーン** テストランと結果 テストスイートとケース レポート

マイルストーンの追加

名前 * ①
Version 1.0
例: Version 1.0, Internal Beta 2, Sprint #4

親
▼
このマイルストーンの子マイルストーン (マイルストーン内のサブマイルストーンの場合) です。

説明 ②
チュートリアル用のマイルストーン Version1.0 です。
このマイルストーンの目的やゴールを記述するのに使用します。

開始日 ③
2020/01/20
このマイルストーンの期待または計画される開始日 (今後開始されるまだアクティブではないマイルストーンの場合) です。

終了日 ④
2020/04/30
このマイルストーンの期待される期日または終了日です。

マイルストーンは完了済みです。
テストおよびテストケースは、アクティブなマイルストーンにだけ割り当て可能です。

✓ マイルストーンを追加 ✕ キャンセル

- マイルストーンが作成されたことを確認します。



マイルストーンの開始 (参考)

☆Information☆

チュートリアルを進める場合、この時点で**開始**にはしないでください。

作成したマイルストーンで、テスト活動を開始する前に、マイルストーンを「**開始**」します。

この作業は、マイルストーンの作成直後ではなく、マイルストーンで実施するテストの開始前に実施します。

「マイルストーン」タブで**開始予定**の欄から該当のマイルストーンの横に表示される「**開始**」リンクをクリックします。



マイルストーンでのテスト活動が終了したら、マイルストーンを「完了」させます。以降、このマイルストーンに新たにテストを追加することはできません。

- 「完了」させるマイルストーンを開いた右上の「**編集**」リンクを押下して、「マイルストーンの編集」画面を表示します。



- 「マイルストーンの編集」画面で「マイルストーンは完了済みです。」チェックボックスを有効化して「マイルストーンの保存」ボタンを押下します。



! Caution !

マイルストーンを「完了」させても、マイルストーン内のテストは更新が可能な状態です。テストやテストの実施結果が今後変更されないようにするには、テストランをクローズする必要があります。詳細は「[6. テストラン作成](#)」で説明します。

5. テストケース作成

TestRail のテストケースはテストの前提条件の説明、テスト手順のリスト、および期待される結果で構成されます。

関連するテストケースはテスト スイートでまとめて管理することができます。

本章では TestRail のテストスイート、テストケースの作成について説明します。

○TestRail 作業位置○

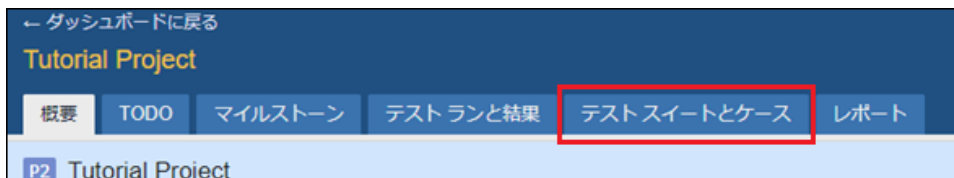


☆Information☆

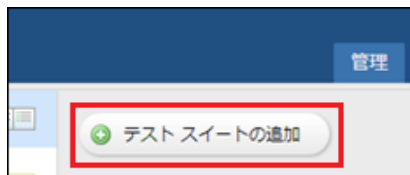
- 「テストスイート作成」、「テストケース作成」はプロジェクトに対してスイートの「追加/編集」、ケースとセクションの「追加/編集」権限が必要です。事前に、利用する TestRail ユーザーがプロジェクトに対してスイートの「追加/編集」、ケースとセクションの「追加/編集」権限を付与されたロールであることを確認してください。
- テストスイートはプロジェクト作成時に選択したプロジェクトの形式が「複数テスト スイートを使用してケースを管理する」のみ作成することができます。

テストスイート作成方法

- プロジェクトの「テストスイートとケース」タブを開きます。



- テスト スイートとケース画面右上の「テストスイートの追加」ボタンを押下します。



- 「テストスイートの追加」画面でテストスイートの情報を登録します。
 - 名前: SampleSuite
 - 説明: チュートリアル用テストスイートです。

名前 * ①
SampleSuite
例: ユーザーインターフェイスのテスト、特定業務フローのリリースなど

説明 ②
チュートリアル用テストスイートです。

このテストスイートの内容や目的を記述するのに使用します。

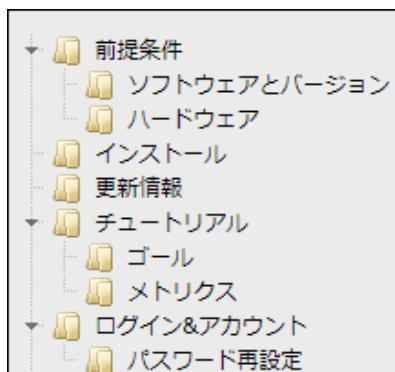
✓ テストスイートの追加 ✕ キャンセル

テストケース作成方法

テストケースを作成する前に、**セクション**を作成します。

セクション作成

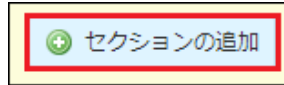
TestRail のテストケースはセクションでグループ化することができ、セクションは階層構造で定義することができます。(下の図で1フォルダーが1セクションを示しています。)



◆Practice◆

セクションを作成します。

- 「テストスイートとケース」タブで SampleSuite を選択します。
- 「セクションの追加」ボタンを押下します。



- 「セクションの追加」ダイアログでセクションの情報を登録します。
 1. **名前**: ○○画面
 2. **説明**: ○○画面テスト用セクションです。

★Information★

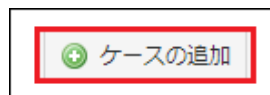
セクションを作成しない場合、自動的に「テストケース」という名前のセクションが作成されます。

ケース作成 (テキスト)

◆Practice◆

作成したセクションにテストケースを追加します。

- 「ケースの追加」ボタンをクリックします。



- ケースの基本情報を入力します。
 - タイトル: 全画面テスト(テキスト)
 - セクション: ○○画面
 - テンプレート: テストケース(テキスト)

- タイプ: マニュアル記載
- 優先度: Medium
- 見積もり: 10s
- 自動化種別: None

← ダッシュボードに戻る

Tutorial Project

概要 TODO マイルストーン テスト ランと結果 テストスイートとケース レポート

テストケースの追加

SampleSuite

タイトル *

絵画テスト (テキスト)

セクション * テンプレート * タイプ * 優先度 *

○○画面 テスト ケース (テキスト) マニュアル記載 Medium

見積り 参照 2 自動化種別

10s None

- ケースの詳細を入力します。

- **前提条件**

テストデータの反映

* インポートメニューからテストデータをアプリケーションに反映させる。

- **手順**

テスト実施

1. テスト用文書を開く

2. テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。

補足

* 画面設定は以下を想定。

```
.pieChart .legendContainer {
float: left;
width: 200px;
height: 180px;
margin-right: 60px;
}
```


- **期待する結果**

以下の基準を満たすこと。

- * テスト対象ブラウザのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと

上記の基準を満たさなかった項目はテスト結果にてコメントを残すこと

The screenshot shows a test case creation form with three main sections:

- 前提条件 (Prerequisites):** Contains a header "# テストデータの反映" and a bullet point "* インポートメニューからテストデータをアプリケーションに反映させる。". Below the text is a note: "The preconditions of this test case. Reference other test cases with [C#] (e.g. [C17])."
- 手順 (Steps):** Contains a header "# テスト実施" and a numbered list: "1. テスト用文書を開く", "2. テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。". Below is a sub-header "## 補足" and a bullet point "* 画面設定は以下を想定。". Below the text is a note: "The required steps to execute the test case."
- 期待する結果 (Expected Results):** Contains the text "以下の基準を満たすこと。" followed by a bullet point "* テスト対象ブラウザのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと" and "上記の基準を満たさなかった項目はテスト結果にてコメントを残すこと". Below the text is a note: "The expected result after executing the test case."

At the bottom of the form, there are three buttons: "✔ テストケースの追加" (Add Test Case), "✔ 連続して追加" (Add Continuously), and "✖ キャンセル" (Cancel).

- 「テストケースの追加」ボタンを押下してテストケースを保存します。

ケース作成 (手順)

◆ Practice ◆

- 「ケースの追加」ボタンをクリックします。
- ケースの基本情報を入力します。
 - **タイトル:** 全画面テスト(手順)
 - **セクション:** ○○画面
 - **テンプレート:** テストケース(手順)
 - **タイプ:** マニュアル記載
 - **優先度:** Medium
 - **見積もり:** 10s
 - **自動化種別:** None

タイトル * 全画面テスト (手順)			
セクション * 〇〇画面	テンプレート * テストケース (手順)	タイプ * マニュアル記載	優先度 * Medium
見積り 10s	参照	自動化種別 None	

- ケースの詳細を入力します。
 - **前提条件**
 - * 最新のマニュアルを準備すること。
 - **手順1** (右下の「手順の追加」リンクをクリックすると、手順入力用フィールドが追加されます。)
 - 手順の説明
テスト用文書を開く
 - 期待される結果
テスト用文書が開かれること
 - **手順2**
 - 手順の説明
テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。
 - 期待される結果
表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること

前提条件

* 最新のマニュアルを準備すること。

The preconditions of this test case. Reference other test cases with [C#] (e.g. [C17]).

手順

1

テスト用文書を開く	テスト用文書が開かれること
-----------	---------------

共有 インポート ↑ ↓ - +

2

テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。	表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること
----------------------------------	----------------------------------

共有 インポート ↑ ↓ - +

手順の追加

✓ テストケースの保存 ✗ キャンセル

- 「テストケースの追加」ボタンを押下してテストケースを保存します。

ケース作成(探索的テスト)

◆Practice◆

- 「ケースの追加」ボタンをクリックします。
 - ケースの基本情報を入力します。
 - タイトル**: 全画面テスト(探索的)
 - セクション**: ○○画面
 - テンプレート**: 探索的テスト
 - タイプ**: マニュアル記載
 - 優先度**: Medium
 - 見積もり**: 10s
 - 自動化種別**: None

タイトル *
全画面テスト (探索的)

セクション * テンプレート * タイプ * 優先度 *
○○画面 探索的テスト マニュアル記載 Medium

見積り 参照 自動化種別
1h | None

- ケースの詳細を入力します。
 - Mission**
システム内の画面項目がマニュアルの記載どおりであることを確認する
 - ゴール**
システム内全ての画面(全 XX 画面)で確認が完了している

Mission

システム内の画面項目がマニュアルの記載どおりであることを確認する

A high-level overview of what to test and which areas to cover, usually just 1-2 sentences.

ゴール

システム内全ての画面(全XX画面)で確認が完了している

A detailed list of goals to cover as part of the exploratory sessions.

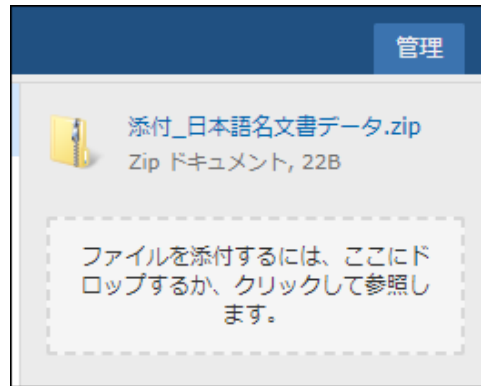
✓ テストケースの追加 ✓ 連続して追加 ✗ キャンセル

- 「テストケースの追加」ボタンを押下してテストケースを保存します。

【参考】ファイル添付

☆Information☆

テストケースで参照するファイルを添付する場合、右上のエリアでファイルを選択または、ドロップします。



1 度に添付可能なファイルサイズには以下の制限がございます。

PHP のファイルアップロード制限

php.ini の以下の項目に定義されている値を超えるサイズのファイルをアップロードすることはできません。必要な場合は、値を変更してください。(変更後 Web サーバーを再起動してください。)

- upload_max_filesize=20M
- post_max_size=20M

IIS の要求フィルターの設定

Windows 環境の IIS 7.0 以降をご利用の場合、30MB 以上のファイルをアップロードできないように制限されています。

以下の手順で変更することができます。(変更後 Web サーバーを再起動してください。)

1. IIS マネージャを起動する
2. 画面左側の「接続」ウィンドウにて、TestRail のサイトを選択する
3. 「要求のフィルター」をダブルクリックする
4. 画面右側の「操作」にある「機能設定の編集」をクリックする
5. 「許可されたコンテンツ最大長」に任意の値を設定
6. 「OK」をクリックする

【参考】テストケースタイプ

☆Information☆

TestRail には 3 つのテンプレートがデフォルトで用意されています。また、管理 > カスタマイズからカスタムテンプレートを作成することもできます。

テストケース(テキスト)

1つの前提条件、テスト手順、期待する結果、および実際の結果を入力する場合に使用します。

テストケース(手順)

1つのテストケース内で複数の手順、手順毎に期待される結果、および結果の入力をする場合に使用します。手順と手順毎に期待される結果は「共有テスト手順」としてプロジェクト内の他のテストケースと共有して利用することもできます。詳細は[こちら](#)をご確認ください。

探索的テスト

探索的テストの実施に合わせてミッションとゴールを登録できます。探索的テストを実施する場合に使用します。

【参考】見積り

☆Information☆

TestRail のテストケースには、見積り(テスト実施にかかると予測される時間)を登録することができます。見積りを登録するとテストランやマイルストーン、プロジェクトにおけるテスト活動の見積もりと予測を生成します。

見積りはテストケース追加ダイアログ画面の「見積り」フィールドに手入力することができます。

以下のフォーマットを使用できます。

- 1s, 1m, 1h
- 1 秒, 1 分, 1 時間
- 00:00:01, 00:01, 01:00
- 1 時間 40 分

テストケースの追加

SampleSuite

タイトル *

セクション * テンプレート * タイプ * 優先度 *

○○事業 テストケース(テキスト) マニュアル記載 Medium

見積り 参照 2 自動化種別

None

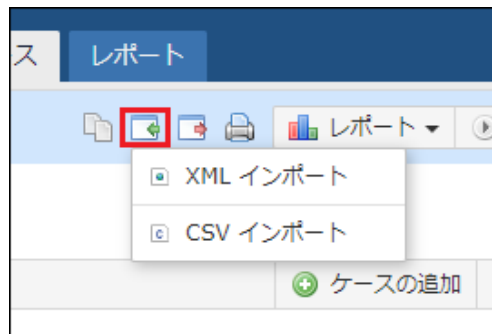
! Caution !

見積り、予測を生成するには複数のテストケースに対して見積りが登録されている必要があります。
正確な見積もり、予測を生成するには、テスト結果登録時に「経過期間」が入力されている必要があります。

テストケースインポート/エクスポート

インポート

外部ファイルを利用して TestRail にテストケースをインポートすることができます。



- インポート可能なフォーマット
 - **XML**: TestRail 固有のフォーマットに対応した XML ファイルからテストケースをインポートできます。
 - 既存テストケースの更新 (テストケース ID で紐づけ)、新規テストケースの追加のいずれかを選択します。
 - TestRail のテストケースを外部で編集後、再インポートする場合に適しています。
 - **CSV**: CSV ファイルに定義されたテストケースを TestRail の項目とマッピングしてインポートできます。
 - インポートするテストケースは新規テストケースとして追加されます。(既存のテストケースの更新は出来ません。)
 - Excel 等で管理されているテストケースを TestRail にインポートする場合に使用します。

◆Practice◆

case_import.csv ファイルを使ってテストケースをインポートします。

- **case_import.csv のダウンロード**



[case_import.csv](#)

- SampleSuite テストスイートで CSV インポート を選択します。

- 「CSV からインポート」ダイアログ画面で CSV インポートの設定を行います。(1/4)
 - **ファイル**:case_import.csv ファイル
 - **フォーマットとマッピング**:新規マッピングの設定
 - **インポート先**:指定なし
 - **ファイルエンコーディング**:UTF-8
 - **CSV 区切り文字**:,
 - **開始行**:1、「ヘッダー行」チェックボックスは ON
 - **テンプレート**:テストケース(テキスト)

- 「CSV からインポート」ダイアログ画面で CSV ファイルのカラム名と TestRail の項目名をマッピングします。(2/4)
 - **行レイアウト**:テストケースは単一行を使用する。
 - (CSV 列)番号:指定なし
 - (CSV 列)タイトル:タイトル
 - (CSV 列)重要度:優先度
 - (CSV 列)種別:タイプ
 - (CSV 列)事前準備:前提条件
 - (CSV 列)テスト手順:手順
 - (CSV 列)結果の確認方法:期待する結果



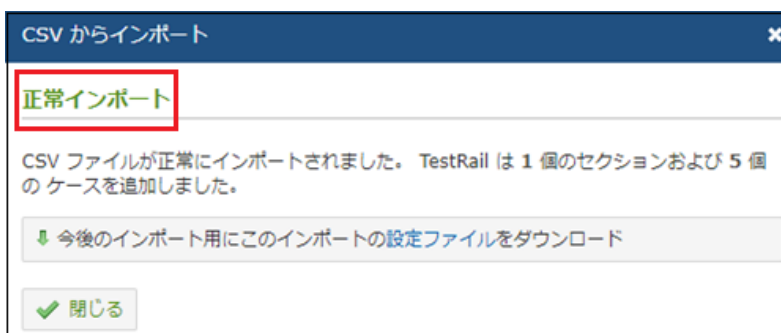
- 「CSV からインポート」ダイアログ画面の設定を行います。(3/4)
 - 設定変更は無し。
 - 【補足】この画面では、1 手順前の「列と行のレイアウトマッピング」でマッピングした、CSV 列名の値と TestRail の項目の値をマッピングします。下の図では、CSV ファイルの「重要度」列の値 '1' を TestRail の項目「優先度」の 'Low' へマッピングしています。適切なマッピング項目が無い場合、任意の項目を TestRail のフィールドとして追加することも可能です。



- 「CSV からインポート」ダイアログ画面に表示されるインポートデータのプレビューを確認します。(4/4)



- インポートが正常に完了することを確認します。



- 「閉じる」ボタンを押下してダイアログ画面を閉じます。
- インポートしたテストケースがテストケースの一覧画面に表示されることを確認します。
 - セクション: テストケース
 - インポートされたテストケース数: 5

ID	タイトル
C3084	(テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する
C3085	(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する
C3086	(テストケース追加) インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する
C3087	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する
C3088	(テストケース追加) 文書属性 (作成者、タイトル、組織) を変更する

★Information★

日本語文字列を含むテストケースを CSV ファイルからインポートする場合は、CSV ファイルのエンコーディングを UTF-8 にしてください。

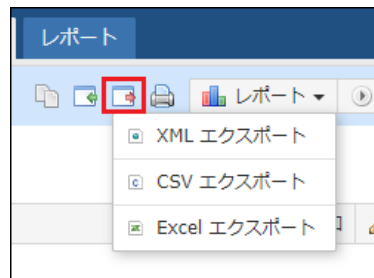
テストケースインポートの具体的な方法については TestRail ユーザーマニュアルをご確認ください。

[テストケースとセクションのインポート \(Excel/CSV\)](#)

[テスト ケースとセクションのインポート \(XML\)](#)

エクスポート

TestRail のテストケースを外部ファイルにエクスポートすることができます。



- エクスポート可能なフォーマット
 - **XML**: テストケースを TestRail 固有のフォーマットの XML ファイルへエクスポートします。
 - テストケースを外部で編集して再インポートを実施することで更新する場合、XML エクスポートを利用してください。
 - **CSV**: テストケースを CSV ファイルへエクスポートします。
 - **Excel**: テストケースを Excel ファイルへエクスポートします。
 - 拡張子が *.CSV になります。エクスポートしたファイルを Excel で開き任意のフォーマットに変換してください。
 - テストケースに日本語文字列が含まれる場合 [Excel との互換性のため、区切りのヒントを挿入する] チェックボックスのチェックを外してエクスポートしてください。

6. テストラン作成

TestRail では、テストの実行、結果をテストランで管理します。
本章では TestRail のテストランの作成について説明します。

○TestRail 作業位置○



★Information★

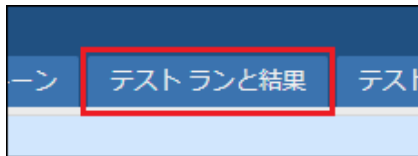
「テストラン作成」はプロジェクトに対して **ランと計画の「追加/編集」** 権限が必要です。
事前に、利用する TestRail ユーザーがプロジェクトに対して **ランと計画の「追加/編集」** 権限を付与されたロールであることを確認してください。

テストラン作成方法

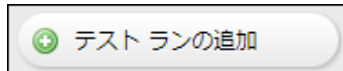
◆Practice◆

テストランを作成します。

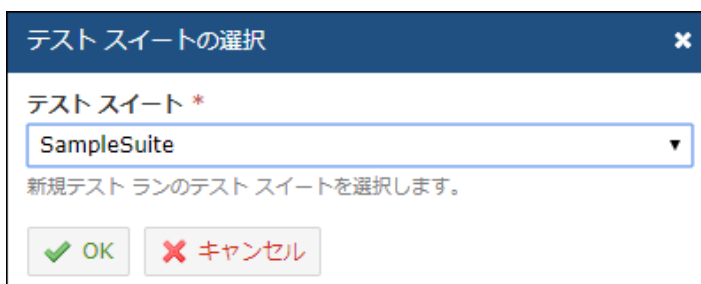
- プロジェクトの「テストランと結果」タブを開きます。



- テストラン画面右上の「テストランの追加」ボタンを押下します。



- 「テストスイートの選択」ダイアログで “SampleSuite” を選択後、「OK」ボタンを押下します。



☆Information☆

テストランはテストスイート単位で作成します。複数のテストスイートに存在するテストケースを 1 つのテストランで管理することはできません。

- 「テストランの追加」ダイアログでテストランの設定を行います。
 - 名前**: SampleSuite_TestRun1
 - マイルストーン**: Version 1.0
 - アサイン**: 自分
 - 説明**: チュートリアル用テストラン1です。
 - 特定のテストケースを選択**: ラジオボタンを ON

テストランの追加

名前 *
SampleSuite_TestRun1
テストスイート名を再利用するか、新しい名前を指定します。

参照 2
外部チケットへの参照 ID をここに追加します。

マイルストーン
Version 1.0
このテストランが所属するマイルストーンです。

アサイン
自分
テストランで新規テストを作成したときに割り当てられるユーザーです。電子メール通知が有効な場合、ユーザーに電子メールが送信されます。

説明
ラジオボタンを ON

このテストランの目的を記述するのに使用します。テストスイートの説明を再利用することもできます。

すべてのテストケースを含める
このオプションを選択すると、すべてのテストケースがテストランに含まれます。テストスイートに新しいテストが追加されると、自動的にこのテストランに追加されます。

特定のテストケースを選択
このテストランに含めるテストケースを選択することもできます。その場合、新しいテストは、自動的にこのテストランに追加されません。
0 個のテストケースが含まれます (選択の変更)。

動的フィルタリング BETA
フィルターの選択に基づいて自動的にテストケースを追加します。フィルターに一致する新規テストケースは、ランがクローズされていない限り、自動的にテストランに追加されます。

✓ テストランの追加 ✗ キャンセル

- 特定のテストケースを選択で「選択の変更」リンクをクリックします。
- 「ケースの選択」ダイアログでテストランへ含めるテストケースの絞込を行います。
 - 選択フィルターで 優先度 > High を選択します。

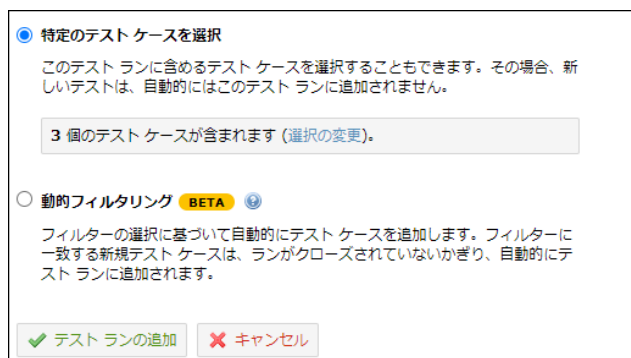
2. 「一致したケースを選択」ボタンをクリックします。
3. 3つのテストケースが選択されていることを確認後「OK」ボタンを押下します。



★Information★

選択フィルターでは複数の条件を一度に設定することができます。

- 「テストランの追加」ボタンを押下します。



- テストケース 3 ケースを含んだテストランが作成されたことを確認します。

The screenshot shows the TestRun interface for 'SampleSuite_TestRun1'. A summary pie chart indicates 0% Passed, 0% Blocked, 0% Retest, and 0% Failed. Below the chart, it states '3 / 3 Unexecuted (100%)'. A table lists three test cases, all with a status of 'Unexecuted':

ID	タイトル	ステータス
T3938	(テストケース追加) プリンタドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	Unexecuted
T3939	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する	Unexecuted
T3940	(テストケース追加) 文章簡潔性 (作成者、タイトル、縮略) を変更する	Unexecuted

【参考】テストランのクローズ

★Information★

テストランにおけるテストの実行が完了したら、テストランをクローズします。

クローズされたテスト ランはそれ以降、結果の編集や変更ができなくなるため、テストランを実施時点の状態で保管することができます。

テストランに含まれるテストに関連付けられているテストケースの内容が変更された場合も、テストランがクローズされている場合はテストの内容(手順や期待する結果など)は、反映されず、テストを実施した時点の内容が保持されます。

テストランは以下の手順でクローズします。

- クローズ対象のテストランの編集画面を開きます。
- 右上のエリアにある「このテストランをクローズ」リンクをクリックします。

アクション

今後、テストや結果が変更されるのを防ぐには、このテストランをアーカイブ化します。

[» このテストランをクローズ](#)

【参考】テストランの再実施

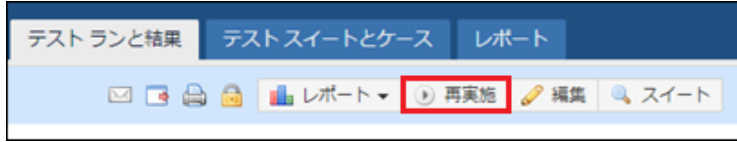
★Information★

既存のテストランの設定に基づいて新しいテストランを開始することができます。

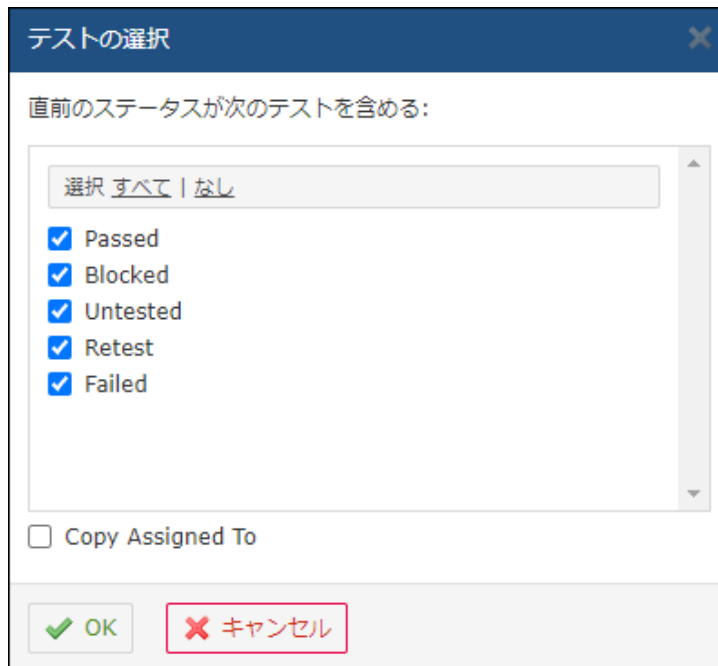
以前に失敗したテストを再テストする場合などに適しています。

テストランの再実施は以下の手順で行います。

- 再実施するテストラン画面を開きます。
- 「再実施」ボタンを押下します。



- 新しいテストランに含めるテストを、テストのステータスから選択します。テストのアサイン情報を引き継ぐ場合は、「Copy Assigned To」チェックボックスを ON にしてください。



- 「OK」ボタンを押下して、テストランの設定画面に遷移後、設定を入力してテストランを作成します。

【参考】テストケースの選択

☆Information☆

テストラン作成時に、テストケースを選択する方法として以下の 3 つがあります。

- すべてのテスト ケースを含める
 - テストラン作成時に選択したテストスイート内の全てのテストケースをテストランに含めます。
- 特定のテスト ケースを選択
 - フィルタリング機能で、テストランに含めるテストケースを絞込むことができます。

- テストランの作成後に、フィルタリング条件に一致するテストケースが追加されたり、テストケースを変更してフィルタリング条件から外れても、一度テストランに含まれたテストケースはテストランから追加、除外されません。
- 動的フィルタリング
 - ベータ版の機能であり、今後のバージョンで動作が変わる恐れがあります。
 - フィルタリング機能で、テストランに含めるテストケースを絞込むことができます。
 - テストランの作成後に、フィルタリング条件に一致するテストケースが追加されたり、テストケースを変更してフィルタリング条件から外れた場合、テストランに反映されます。(テストランのテストが追加、削除されます。)

すべてのテスト ケースを含める

このオプションを選択すると、すべてのテスト ケースがテスト ランに含められます。テスト スイートに新しいテストが追加されると、自動的にこのテスト ランに追加されます。

特定のテスト ケースを選択

このテスト ランに含めるテスト ケースを選択することもできます。その場合、新しいテストは、自動的にこのテスト ランに追加されません。

動的フィルタリング BETA ⓘ

フィルターの選択に基づいて自動的にテスト ケースを追加します。フィルターに一致する新規テスト ケースは、ランがクローズされていないかぎり、自動的にテスト ランに追加されます。

7. テスト計画作成

複数のテストランをまとめて管理する場合や、複数の構成(OS やブラウザなど)に対してテストを実施する場合、テスト計画でテストランを管理することができます。

本章では TestRail のテスト計画の作成について説明します。

○TestRail 作業位置○



☆Information☆

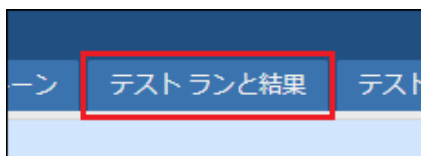
「テスト計画作成」はプロジェクトに対してランと計画の「追加/編集」権限が必要です。事前に、利用する TestRail ユーザーがプロジェクトに対してランと計画の「追加/編集」権限を付与されたロールであることを確認してください。

テスト計画作成方法

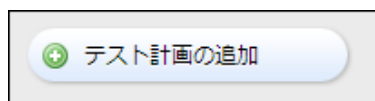
◆Practice◆

テスト計画を作成します。

- プロジェクトの「テストランと結果」タブを開きます。



- テストラン画面右上の「テスト計画の追加」ボタンを押下します。



- 「テスト計画の追加」画面でテスト計画の情報を設定します。
 - 名前: TestPlan1
 - マイルストーン: Version 1.0
 - 説明: チュートリアル用のテスト計画です。

テスト計画の追加

名前 *

TestPlan1

例: All supported browsers. Operating system/database combinations

マイルストーン

Version 1.0

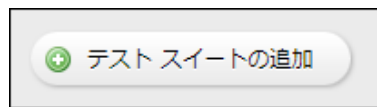
このテスト計画が所属するマイルストーンです。

説明

チュートリアル用のテスト計画です。

このテスト計画の目的やゴールを記述するのに使います。

- 右上の「テストスイートの追加」ボタンを押下します。



- 「テストスイートの追加」ダイアログで、「TestSuite」を選択します。

テストスイートの追加

テストスイート *

SampleSuite

このテスト計画に追加するテストスイートを選択します。

OK キャンセル

- テストスイートが追加されたことを確認します。

SampleSuite

すべてのケース (ケースの選択) | 担当者: Nobody (変更) | 説明

設定

- 追加された「SampleSuite」を変更します。
 - 「SampleSuite」の名前右横の鉛筆マークから名前を変更します。
 - 名前: WEB ブラウザ別テスト

名前の編集

名前 *

WEB ブラウザ別テスト

テストランの名前です。

OK キャンセル

- 「テストケースの選択」リンクをクリックして、テストランに含めるテストケースを選択します。
 - 左のセクションから「〇〇画面」を選択（3 テストケースが有効化されます。）
 - OK ボタンを押下して設定を保存します。

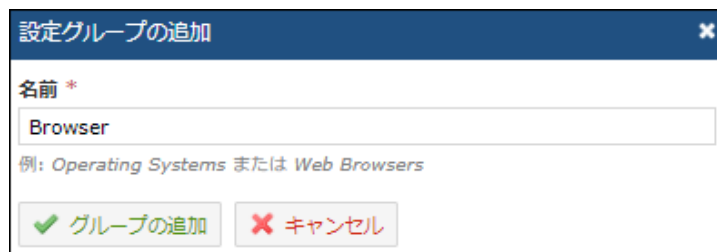


- 「設定」ボタンを押下して、テストを行うグループを作成します。
 - 「設定の選択」ダイアログ画面下の「グループを追加」リンクをクリックします。



- 「設定グループの追加」ダイアログ画面でグループ名を登録します。

- 名前: Browser



- 追加されたグループ右横の「設定の追加」リンクをクリックします。



- 以下のブラウザを追加します。

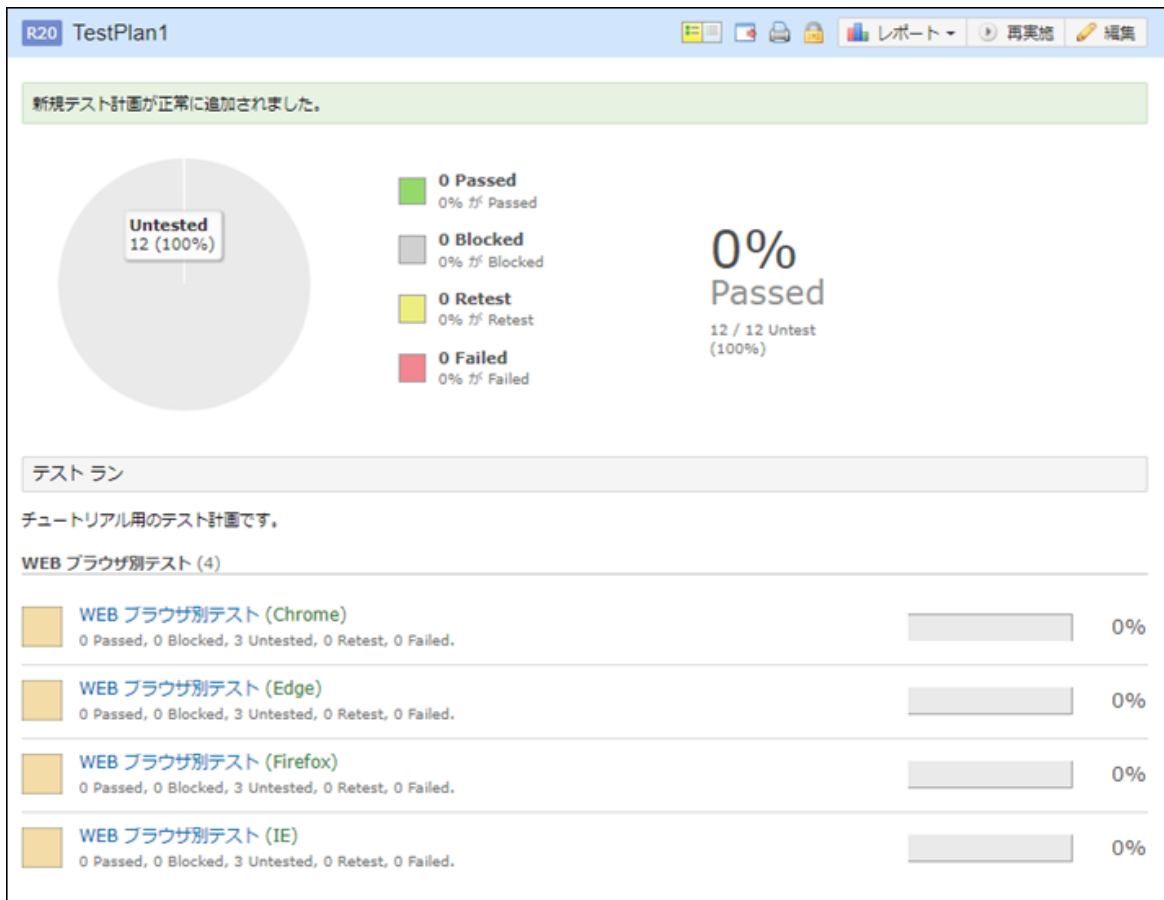
- IE
- Edge
- Firefox
- Chrome



- 作成した4つのチェックボックスをONにして「OK」ボタンを押下して4つのブラウザの設定が出来ることを確認します。



- 「テスト計画の追加」ボタンを押下してテスト計画を作成します。
 - ブラウザごとのテストランが作成されていることがわかります。



★Information★

1. テスト計画では、異なるテストスイートのテストランをまとめて管理することができます。
2. テスト計画にはグループを複数登録することができます。それにより OS、WEB ブラウザなど複数の観点を掛け合わせたテストを実施することができます。

8. テスト実施、結果登録

テストを実行し、作成したケースにテスト結果はテストランに登録します。

本章では TestRail のテスト実施、結果登録について説明します。

○TestRail 作業位置○



☆Information☆

テスト結果の追加はプロジェクトに対して **テスト結果の「追加/編集」** 権限が必要です。事前に、利用する TestRail ユーザーがプロジェクトに対して **テスト結果の「追加/編集」** 権限を付与されたロールであることを確認してください。

事前準備

◆Practice◆

- テストランに結果を登録する前に、「マイルストーン」タブで作成済みの Version 1.0 マイルストーンを開始します。



結果登録（ステータスのみ）

◆Practice◆

- 「テストランと結果」タブで SampleSuite_TestRun1 をクリックします。

テストランと結果

オープン

TestPlan1
2020/02/05 に Taro T. が作成 | 編集
0 Passed, 0 Blocked, 12 Untested, 0 Retest, 0 Failed. 0%

SampleSuite_TestRun1
2020/02/05 に Taro T. が作成 | 編集
0 Passed, 0 Blocked, 3 Untested, 0 Retest, 0 Failed. 0%

- 各テスト横の > リンクをクリックすると、画面が 3 ペイン表示に切り替わり、テストの詳細情報を確認出来るようになります。

R19 SampleSuite_TestRun1

0 Passed
0% が Passed

0 Blocked
0% が Blocked

0 Retest
0% が Retest

0 Failed
0% が Failed

0% Passed
3 / 3 Untest (100%)

チュートリアル用テストラン1です。

ソート順: セクション | フィルター: 無し

結果の追加 アサイン 列

テストケース (3)

ID	タイトル	担当者	ステータス	
T3938	(テストケース追加) プリンタドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	Taro T.	Untested	>
T3939	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する	Taro T.	Untested	
T3940	(テストケース追加) 文書属性 (作成者、タイトル、組織) を変更する	Taro T.	Untested	

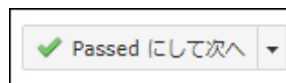


The screenshot shows a test execution window with the following details:

- Summary:** 0% Passed (0 / 3 Untest (100%)). Legend: 0 Passed (0% Passed), 0 Blocked (0% Blocked), 0 Retest (0% Retest), 0 Failed (0% Failed).
- Test Cases Table:**

ID	タイトル	St.
T3938	(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	U
T3939	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリスト...	U
T3940	(テストケース追加) 文書属性 (作成者、タイトル、組織) を変更する	U
- Test Case Details (T3938):**
 - タイプ:** マニュアル記載
 - 優先度:** High
 - 見送り:** なし
 - 参照:** なし
 - 自動化種別:** None
 - 前提条件:** 最新のマニュアルを準備すること。
 - 手順:**
 - テストデータの反映:**
 - インポートメニューからテストデータをアプリケーションに反映させる。
 - 設定メニューから、デバッグモードをONにして保存する。
 - テスト実施:**
 - テスト用文書を開く
 - テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。
 - 画面を確認し、表記上問題がないか、エクスポートされたデータが正しい情報かを確認する。
 - テスト用文書を削除→復元し、復元されることを確認する。
 - 期待する結果:**
 - 以下の基準を満たすこと。チェックリスト参照!
 - テスト対象ブラウザのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと
 - 言語設定に準じた言語でメニューが表示されること
 - ユーザー個別レイアウトが読み込まれること
 - 新規ユーザーにおいてデフォルト設定の画面が崩れずに表示されること
 - Buttons:** 結果の追加, Passed にして次へ, アサイン

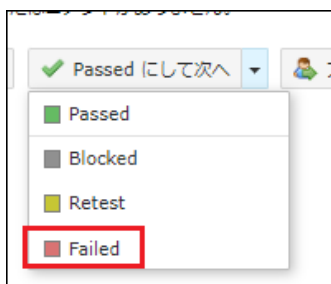
- 1つめのテスト「(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する」のテストの下方にある「Passed にして次へ」ボタンを押下します。



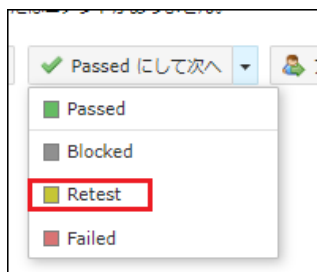
- 以下の2点を確認します。
 - 「(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する」のテストのステータスが **Passed** になったこと
 - 選択されているテストが「(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する」に遷移していること

The screenshot displays a test suite named 'SampleSuite_TestRun1'. A pie chart indicates the overall status: 33% Passed (1 case), 0% Blocked (0 cases), 0% Retest (0 cases), and 0% Failed (0 cases). Below the chart, it shows '2 / 3 Untest (67%)'. A table lists test cases, with T3939, '(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付き...', highlighted in red. The right sidebar provides details for T3939, including a 'Test Results' section with a checklist of criteria to be met.

- 「(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する」に対して「Passed にして次へ」ボタン横のプルダウンから Failed を選択します。



- 「(テストケース追加) 文書属性(作成者、タイトル、組織)を変更する」に対して「Passed にして次へ」ボタン横のプルダウンから Retest を選択します。



- テストラン内の全てのテスト結果が入力されたことを確認します。

The screenshot shows the TestPlan interface for a test run named 'SampleSuite_TestRun1'. On the left, a pie chart displays the results: 33% Passed (green), 0% Blocked (grey), 33% Retest (yellow), and 33% Failed (red). Below the chart, it indicates '33% Passed' and '0 / 3 Untest (0%)'. A table lists test cases with their IDs, titles, and statuses: T3938 (Passed), T3939 (Failed), and T3940 (Retest). On the right, the details for test case T3940 are shown, including its type (Manual), priority (High), and a list of test steps and expected results.

結果登録(詳細)

◆Practice◆

- 「テストランと結果」タブで TestPlan1 をクリックします。

The screenshot shows the 'テストランと結果' (Test Runs and Results) tab. It displays a list of test runs. The first run, 'TestPlan1', is highlighted with a red box and shows a progress bar at 0%. The second run, 'SampleSuite_TestRun1', also has a red box around its name and shows a progress bar at 33%.

- 「WEB ブラウザ別テスト」>「WEB ブラウザ別テスト (Chrome)」をクリックします。

The screenshot shows the 'WEB ブラウザ別テスト (4)' (Web Browser Specific Tests (4)) tab. It displays a list of browser-specific tests. The first test, 'WEB ブラウザ別テスト (Chrome)', is highlighted with a red box and shows a progress bar at 0%.

テストケース(テキスト)

◆Practice◆

- 「全画面テスト (テキスト)」のステータス **Untested** をクリックして **Passed** を選択します。



- テスト結果の詳細を入力します。
 - コメント: 画像のレイアウトが崩れないことを確認
 - 添付ファイル: 任意のファイルをドロップまたはクリックして選択
 - バージョン: Version1.0
 - 経過期間: 1m

A screenshot of a dialog box titled '結果の追加' (Add Results). It contains several input fields and a file upload area. The 'ステータス*' (Status*) dropdown is set to 'Passed'. The 'コメント' (Comment) field contains the text '画面のレイアウトが崩れないことを確認'. The 'バージョン' (Version) field is set to 'Version1.0'. The '経過期間' (Elapsed Time) field is set to '1m'. The 'アサイン' (Assign) dropdown is empty. The '欠陥' (Defect) field is empty. At the bottom, there are two buttons: '結果の追加' (Add Results) and 'キャンセル' (Cancel). A file upload area is highlighted with a red box, showing a file named 'proje... 26.5 KB'.

- 「結果の追加」ボタンを押下します。
- 結果が登録されたことを確認します。



テストケース(手順)

◆Practice◆

- 「全画面テスト (手順)」のステータス **Untested** をクリックして **Failed** を選択します。

ID	タイトル	ステータス
T3942	全画面テスト (テキスト)	Passed
T3941	全画面テスト (手順)	Untested
T3943	全画面テスト (探索的)	

Passed
 Blocked
 Retest
 Failed

- テスト結果の詳細を入力します。
 - コメント:** 手順 2 でレイアウト崩れが発生していることを確認
 - 手順1>ステータス:** Passed
 - 手順1>実際の結果:** テスト用文書が正しく開かれることを確認
 - 手順2>ステータス:** Failed
 - 手順2>実際の結果:**
 - データ設定項目のレイアウトが崩れている
 - (操作)任意の画像ファイルをドロップ
 - バージョン:** Version1.0
 - 経過期間:** 1m30s

結果の追加
✕

ステータス *

Failed
▼

テストステータスを設定します (Passed, Failed など)。

コメント

手順2でレイアウト崩れが発生していることを確認

テスト結果の説明です。

手順

P B U R F

1 テスト用文書を開く Passed ▼

期待される結果

テスト用文書が開かれること

実際の結果

テスト用文書が正しく開かれることを確認

2 テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。 Failed ▼

期待される結果

表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること

実際の結果

データ設定項目のレイアウトが崩れている

ここに、任意の画像ファイルを
ドロップしてください。

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

✓
結果の追加

✕
キャンセル

アサイン

▼

他のチームメンバーに割り当てます。

バージョン

Version1.0

テストしているバージョンです。

経過期間 開始

1m30s

テストにかかった時間です。

欠陥 ブッシュ 追加

バグトラッカーのIDのリストです。

- 「結果の追加」ボタンを押下します。
- 結果が登録されたことを確認します。

結果とコメント [?] 履歴とコンテキスト [?] 欠陥 [?]

コメントの追加..

Failed

2020/02/06 11:27
Taro T. 編集

バージョン
Version1.0

経過期間
1m

手順2でレイアウト崩れが発生していることを確認

手順

1 テスト用文書を開く
期待される結果
テスト用文書が開かれること
実際の結果
テスト用文書が正しく開かれることを確認

2 テスト対象機能のダイアログを表示し、テストデータ用の設定を行う。
期待される結果
表示されるダイアログで、データ設定項目が正しく表示されていること
実際の結果
データ設定項目のレイアウトが崩れている



探索的テスト

◆Practice◆

- 「全画面テスト (探索的)」のステータス **Untested** をクリックして **Failed** を選択します。

ID	タイトル	ステータス
T3942	全画面テスト (テキスト)	Passed
T3941	全画面テスト (手順)	Failed
T3943	全画面テスト (探索的)	Untested

Dropdown menu for Untested status:

- Passed
- Blocked
- Retest
- Failed**

- テスト結果の詳細を入力します。
 - **コメント:**
 - みつかった不具合:
 - 画面 IDXXX において「戻る」ボタン押下でメニューページに遷移する。(期待動作: 画面 ID〇〇〇に遷移する)
 - その他
 - 画面 IDXXX で「更新」ボタンを押下後のレスポンスが他画面と比較して遅い。
 - **バージョン:** Version1.0
 - **経過期間:** 1h

結果の追加

ステータス *

Failed

テスト ステータスを設定します (Passed, Failed など)。

コメント

- みつかった不具合:

- 画面IDXXXにおいて「戻る」ボタン押下でメニューページに遷移する。(期待動作: 画面ID===に遷移する)

- その他:

- 画面IDXXXで「更新」ボタンを押下後のレスポンスが他画面と比較して遅い。

テスト結果の説明です。

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

アサイン

他のゲーム メンバーに割り当てます。

バージョン

Version1.0

テストしているバージョンです。

経過期間 [開拓](#)

1h

テストにかかった時間です。

欠陥 [プッシュ](#) [追加](#)

バグ トラッカーの ID のリストです。

✓ 結果の追加 ✕ キャンセル

- 「結果の追加」ボタンを押下します。
- 結果が登録されたことを確認します。

結果とコメント ? 履歴とコンテキスト ? 欠陥 ?

コメントの追加..

Failed

2020/02/06 13:15
Taro T. 編集

バージョン
Version1.0

経過期間
1h

- みつかった不具合 :
 - 画面IDXXXにおいて「戻る」ボタン押下でメニューページに遷移する。(期待動作: 画面ID===に遷移する)
- その他 :
 - 画面IDXXXで「更新」ボタンを押下後のレスポンスが他画面と比較して違い。

結果登録(一括)

◆Practice◆

- 「テストランと結果」タブで **TestPlan1** をクリックします。

テストランと結果

オープン

TestPlan1 2020/02/05 に Taro T. が作成 編集	0%
0 Passed, 0 Blocked, 12 Untested, 0 Retest, 0 Failed.	
SampleSuite_TestRun1 2020/02/05 に Taro T. が作成 編集	33%
1 Passed, 0 Blocked, 0 Untested, 1 Retest, 1 Failed.	

- 「WEB ブラウザ別テスト」 > 「WEB ブラウザ別テスト (Edge)」をクリックします。

WEB ブラウザ別テスト (Edge)

0 Passed, 0 Blocked, 3 Untested, 0 Retest, 0 Failed.

0%

- テストケース 3 つのチェックボックスを ON にして、「結果の追加」ボタンを押下します。

ソート順: セクション | フィルター: なし

② 結果の追加 アサイン 列

〇〇画面 (3)

〇〇画面テスト用セクションです。

①

<input checked="" type="checkbox"/>	ID	タイトル	ステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	T3945	全画面テスト (テキスト)	Untested
<input checked="" type="checkbox"/>	T3944	全画面テスト (手順)	Untested
<input checked="" type="checkbox"/>	T3946	全画面テスト (探索的)	Untested

- テスト結果の詳細を入力します。
 - ステータス: Passed
 - コメント: 期待通りの動作であることを確認。
 - バージョン: Version1.0

- 3つのテストに対して、入力した結果が登録されていることを確認します。

! Caution !

一括登録を利用する場合、テストケースのタイプ「テストケース(手順)」のテスト結果には各手順毎の結果を登録することができません。

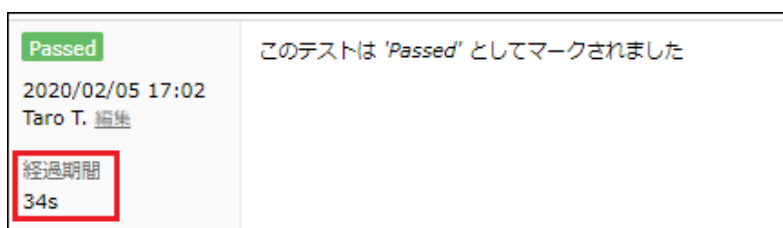
【参考】経過期間

☆Information☆

TestRail のテスト結果には、経過期間(テスト実施にかかった時間)を登録することができます。経過期間を登録するとテストランやマイルストーン、プロジェクトにおけるテスト活動の見積もりと予測を生成します。

経過期間は、以下の方法で登録することができます。

- 方法1:タイマーを利用する
 - 結果登録画面右下の ▶ ボタンをクリックするとタイマーで時間を計測することができます。
 - 1 度目のボタンクリックで計測開始、ステータスの登録で自動的にテストの実行にかかった経過期間が自動登録されます。



- 方法2:手で入力する
 - 結果登録ダイアログ画面の「経過期間」フィールドに手入力することができます。
 - 以下のフォーマットを使用できます。
 - 1s, 1m, 1h
 - 1 秒, 1 分, 1 時間
 - 00:00:01, 00:01, 01:00
 - 1 時間 40 分

結果の追加
✕

ステータス *

Passed ▼

テスト ステータスを設定します (Passed、Failed など)。

コメント

テスト結果の説明です。

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

アサイン

他のチーム メンバーに割り当てます。

バージョン

テストしているバージョンです。

経過期間 [開始](#)

テストにかかった時間です。

欠陥 [プッシュ](#) [追加](#)

バグ トラッカーの ID のリストです。

- 「経過期間」フィールド横の「開始」リンクを押下することでタイマーによる入力も可能です。

! Caution !

見積り、予測を生成するには複数のテスト結果に対して経過期間が登録されている必要があります。
より正確な見積り、予測を生成するには、テストケース作成時に「見積り」が入力されている必要があります。

【参考】ファイル添付

☆Information☆

テスト結果にはファイルを添付することができます。

「結果の追加」ダイアログにおいて「ファイルを添付するにはここにドロップするか、クリックして参照します。」のエリアに対して以下の操作を行うことでファイルを添付することができます。

- ファイルをドラッグ&ドロップで移動する
- エリアをクリックして添付するファイルを選択する



結果の追加

ステータス *

Passed

テスト ステータスを設定します (*Passed*, *Failed* など)。

コメント

テスト結果の説明です。

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

アサイン

他のチーム メンバーに割り当てます。

バージョン

テストしているバージョンです。

経過期間 開始

テストにかかった時間です。

欠陥 ブッシュ追加

バグ トラッカーの ID のリストです。

【参考】画像埋め込み

☆Information☆

テスト結果のコメント欄に画像を埋め込むことができます。

「結果の追加」ダイアログにおいてコメント欄の「画像の追加」ボタンまたは、Ctrl+V で画像を埋め込むことができます。

テスト中に取得したスクリーンショットをファイル形式に保存せず、そのまま登録することができます。(IE は非対応です。)

9. 進捗確認

TestRail では、プロジェクト、マイルストーン、テストラン、テスト計画毎に画面から進捗を確認することができます。

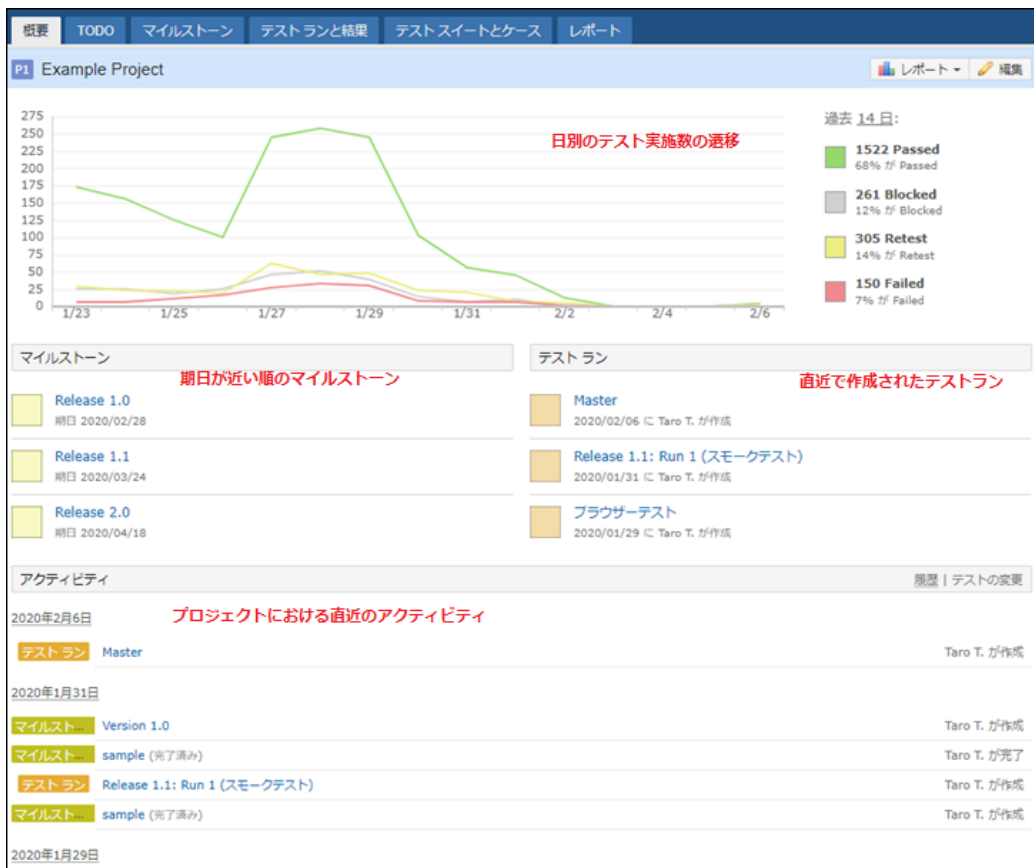
本章では TestRail 画面からの進捗確認について説明します。

○TestRail 作業位置○



プロジェクト

プロジェクトの「概要」タブではプロジェクト内のテスト実施状況を確認するための進捗グラフと、期日が近いマイルストーン情報、直近に作成されたアクティブなテストランの情報を確認することができます。

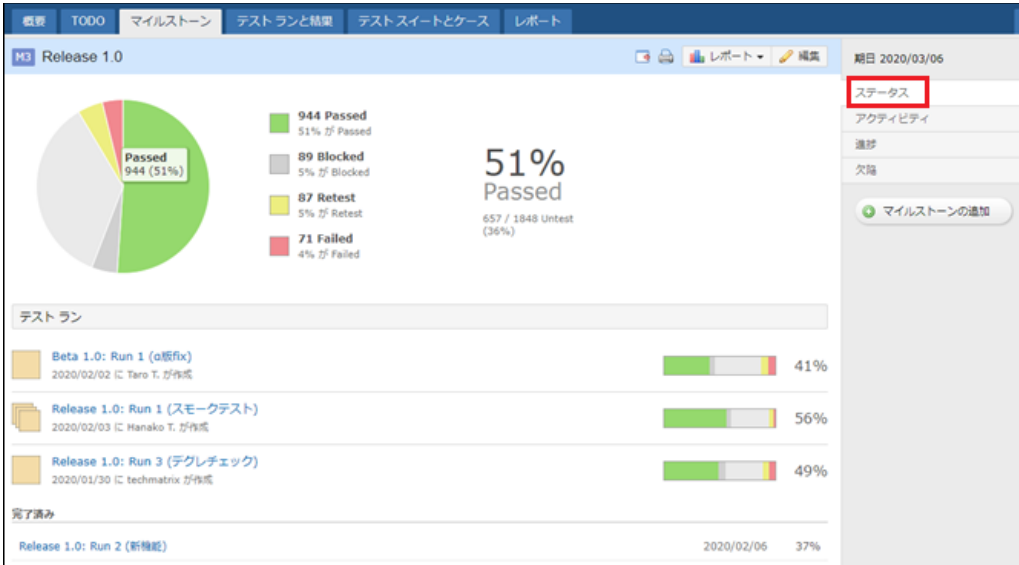


マイルストーン、テストラン、テスト計画

「マイルストーン」タブ、「テストランと結果」タブのサイドバーからステータス、アクティビティ、進捗ビューを開くことができます。

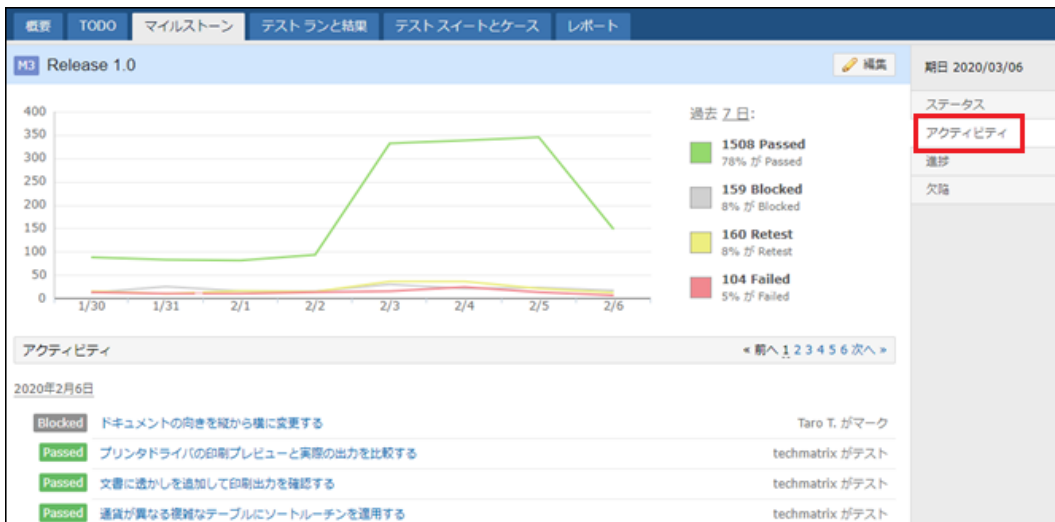
• ステータス

- マイルストーン、テストラン、テスト計画内に存在するテストのステータスの分布を確認することができます



• アクティビティ

- マイルストーン、テストラン、テスト計画のテストの日別のステータス分布の遷移を確認することができます。
- 下の図では、2/5 に 350 件のテストが Passed, 2/6 に 150 件のテストが Passed になったことを示しています。



- 進捗

- マイルストーン、テストラン、テスト計画に関する詳細な進捗レポートを参照できます。
 - バーンダウンチャートでテストの進行状況を視覚化し、現在の進捗状況から予測されるテストの完了日を確認することができます。



10. レポート

TestRail ではレポート機能が搭載されており、レポートの生成、スケジューリング、共有、および電子メール送信ができます。

あらかじめ用意されているレポートテンプレートを使ってレポートを生成することができます。

本章では TestRail のレポート生成機能について説明します。

○TestRail 作業位置○



☆Information☆

レポート生成はプロジェクトに対してレポートの「追加/編集」権限が必要です。事前に、利用する TestRail ユーザーがプロジェクトに対してレポートの「追加/編集」権限を付与されたロールであることを確認してください。

! Caution !

レポートの生成には、バックグラウンドタスクの設定が必要です。

サーバーOS ごとに設定が異なります。詳細は以下をご確認ください。

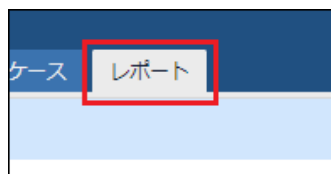
・[バックグラウンド タスクをアクティブにする](#)

レポート生成(サマリーレポート)

◆Practice◆

マイルストーンのサマリー情報を確認するためのレポートを生成します。

- プロジェクトの「レポート」タブを開きます。



- [サマリー] > [マイルストーン] を選択します。



- [レポートオプション] の「マイルストーンと詳細」タブの「次のマイルストーンを使用」で Version 1.0 を選択します。

レポートオプション

マイルストーンと詳細 アクティビティ テスト

次のマイルストーンを使用: *

Version 1.0

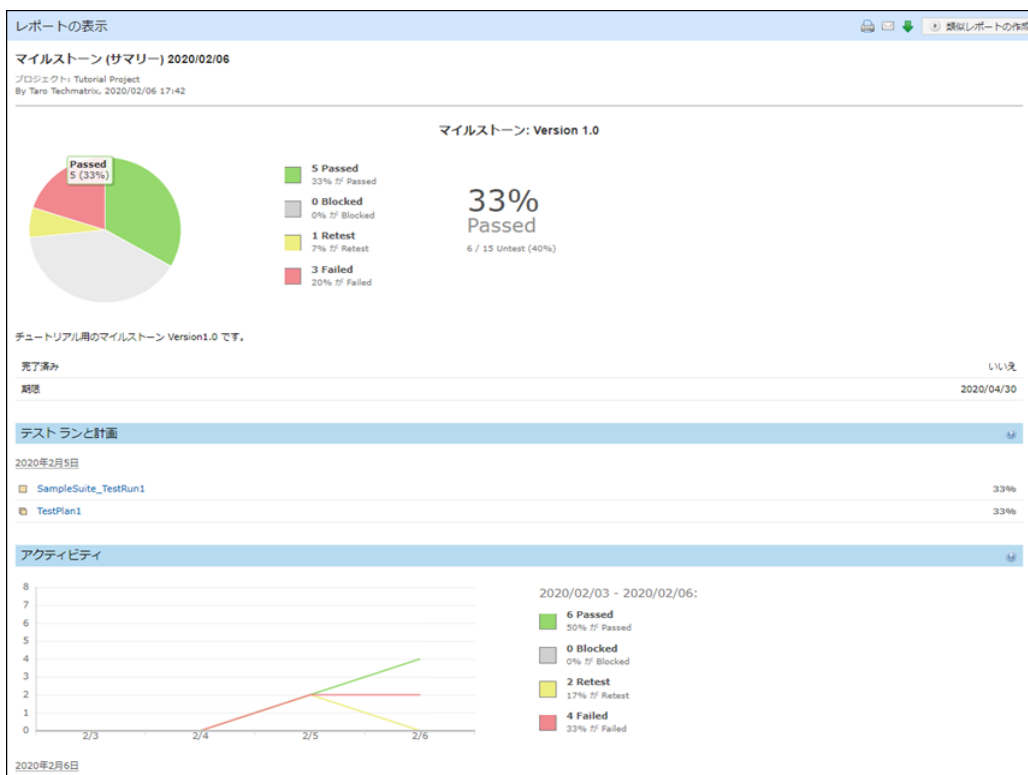
次の詳細/セクションを含める:

- ステータスおよびテスト統計値
- アクティビティ (結果の推移)
- 進捗および残作業見積り/予測
- テストおよびテスト結果

- 「アクティビティ」タブ、「テスト」タブの設定は変更しないまま一番下にある「レポートの追加」ボタンを押下します。



- レポートが生成されることを確認します。(レポートの生成に最大 1 分かかります。)

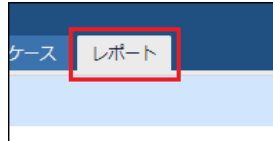


レポート生成(ケースの比較)

◆ Practice ◆

複数のテストランに含まれるテストケース のテスト結果を比較するレポートを生成します。

- プロジェクトの「レポート」タブを開きます。

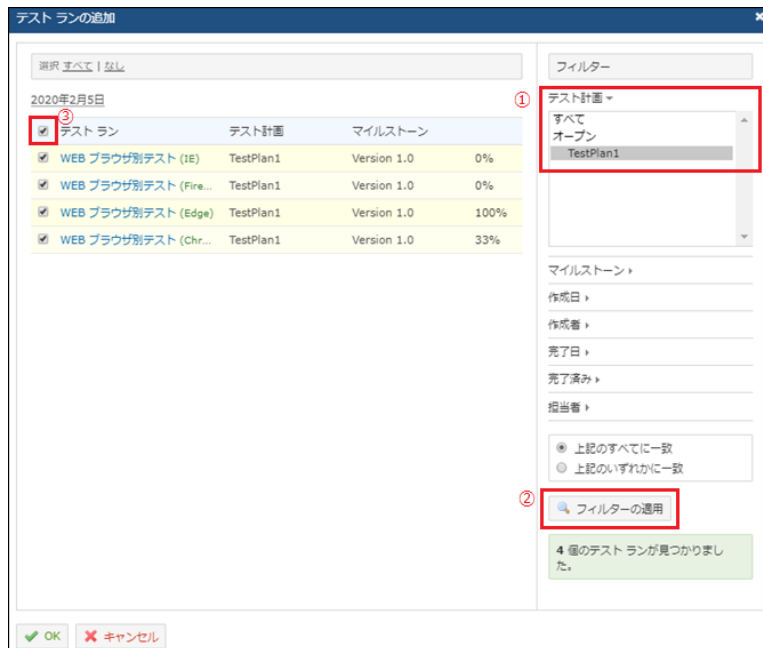


- [結果] > [ケースの比較] を選択します。



- [レポートオプション] の「テストスイートとテストラン」タブで次の設定を行います。

- テストスイート: SampleSuite
- 次の結果を含める: 「次のテスト ランのみ」 ラジオボタンをチェック
 - テストランの追加 リンクをクリック
 - フィルター > テスト計画 > TestPlan を選択して「フィルターの適用ボタン」を押下
 - 表示されている 4 つのテストランのチェックボックスを ON

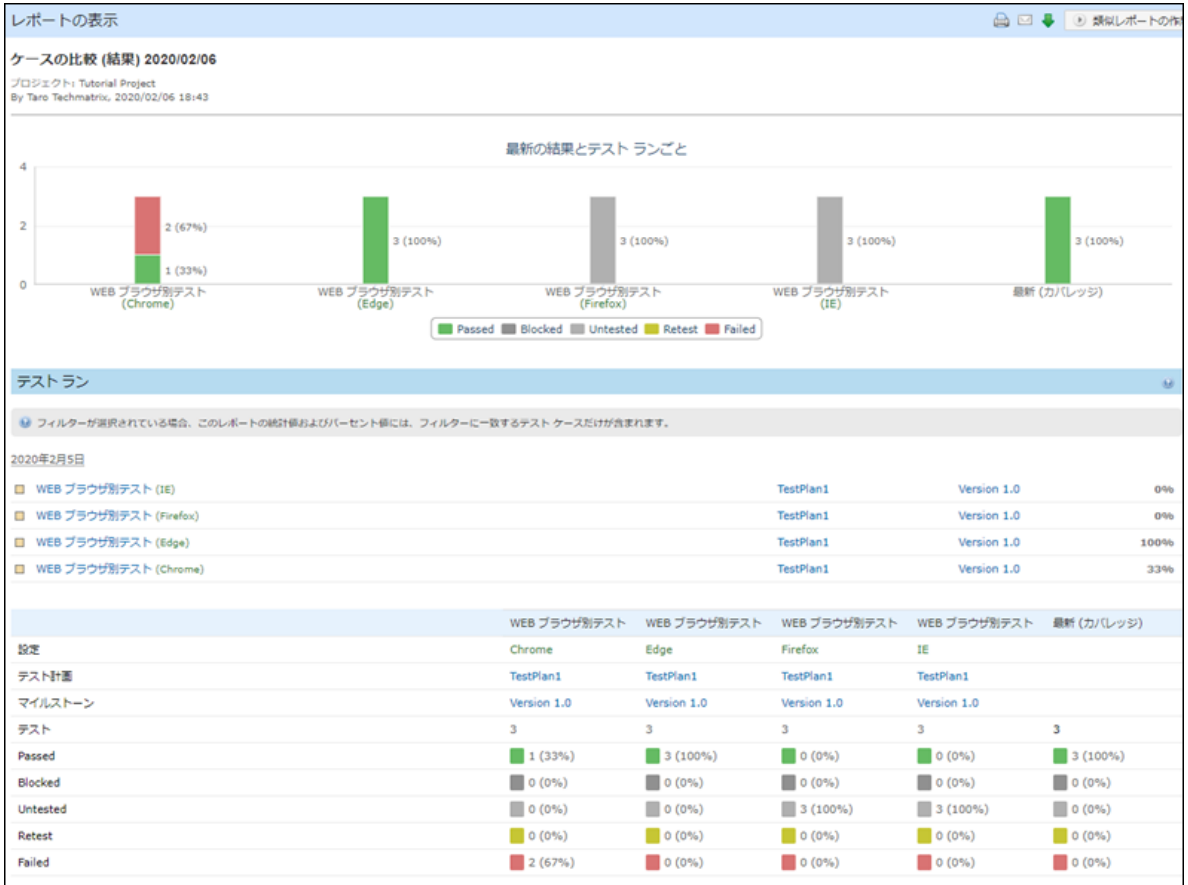


- 設定変更後、「OK」ボタンを押下

- 「テストケース」タブで次の設定を行います。
 - テストケースに次のフィルターを適用: 変更リンクをクリック
 - タイトル:
 - 次のすべてに一致
 - 含む
 - 全画面テスト

- 設定変更後、「OK」ボタンを押下
- 一番下にある「レポートの追加」ボタンを押下します。

- レポートが生成されることを確認します。(レポートの生成に最大 1 分かかります。)



【参考】レポートオプション

☆Information☆

レポートを生成する範囲や、内容を設定することができ、生成するレポートによって表示される内容は異なります。

レポートを生成したい情報に合わせて、設定を変更してください。

レポートオプション

グループ化と変更 テストスイート テストケース

変更のグループ化:

▼

次の変更を含める:

- 新規テスト ケース
- 更新されたテスト ケース (最新の更新のみ)

次のタイムフレームを使用: *

▼

今週

レポートにリンクを含めない (レポートを共有する場合に便利)

【参考】アクセスとスケジュール

★Information★

生成したレポートの閲覧可能な範囲、レポートの生成タイミング、E-mail 送信の設定を行います。同じ設定のレポートを特定の曜日に自動生成したり、レポート生成後に関係者へレポートを E-mail 送信することができるようになります。

アクセスとスケジュール

このレポートにアクセス可能なユーザー:

- 自分だけ
- 誰でも (プロジェクトにアクセス可能なユーザー)

レポート作成:

- いますぐ
- API 経由でオンデマンド
- レポートのスケジュール:
毎日 08:00

レポートが利用可能になった場合:

- 自分に電子メールで通知
- レポートへのリンクを電子メールで通知 (TestRail へのアクセスが必要):
Hanako Techmatrix
Taro Techmatrix

キーボードで Ctrl/Cmd キーを押しながらクリックすると、複数のユーザーを選択できます。

このレポートを他のユーザーや (TestRail にアクセスできない) 外部のメンバーと共有できます。サイズの大きいレポートは、PDF フォーマットでは正しく表示できない可能性があることに注意してください。大きいレポートについては、HTML フォーマットを使用することを推奨します。または、レポート範囲をより小さな複数のレポートに分割することを検討してください。


- レポートを電子メールに HTML ファイルとして添付
- レポートを電子メールに PDF ファイルとして添付

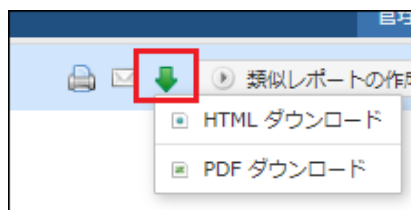
person1@example.com
person2@example.com

1 行に 1 つの電子メール アドレスを入力してください。

【参考】レポートダウンロード

★Information★

生成したレポートは、HTML または PDF 形式でダウンロードすることができます。生成されたレポート右上の  ボタンをクリックして HTML または PDF を選択してください。



【参考】テンプレート

☆Information☆

TestRail には様々なレポートテンプレートが用意されています。取得したい情報に合わせてテンプレートを選択してください。

ケース

テストケースを様々な観点で確認する場合にこのカテゴリのレポートを使います。

レポート名	概要
アクティビティのサマリー	新規追加されたテストケースおよび更新されたテストケースの一覧を表示します。作成、更新を行ったテストケースを確認する場合にご利用ください。
ステータス上位	実施されたテスト結果のステータス(Passed,Failed など)でグループ化し、指定されたステータスの結果が一番多いテストケースを表示します。 1 つのテストケースを複数回実行する場合に、そのテストケースの成功率、失敗率を確認することができます。
プロパティの分布	選択可能な属性でグループ化したテストケースのサマリーを表示します。 ‘優先度’ でグルーピングされたテストケースを確認する場合などにご利用ください。
参照のカバレッジ	参照のテスト ケース カバレッジをカバレッジ マトリクス形式で表示します。 テストで網羅したい要件 ID (要件管理ツールなどで管理している ID) のうち、テストケースの「参照」に設定されている ID の割合を示します。 要件管理とテストケースを紐づけている場合などに、テストケースの不足をチェックすることができます。

サマリー

テストの実施状況、テスト結果を確認したい場合にこのカテゴリのレポートを使います。

レポート名	概要
テストラン	1 つまたはそれ以上のテスト ランのサマリーを表示します。 今週、今月、などの単位で特定のテストランの進捗、テスト結果を確認したい場合にご利用ください。
プロジェクト	プロジェクトのサマリーを表示します。 今週、今月、などの単位で特定のプロジェクトの進捗、テスト結果を確認したい場合にご利用ください。
マイルストーン	マイルストーンのサマリーを表示します。 今週、今月、などの単位で特定のマイルストーンの進捗、テスト結果を確認したい場合にご利用ください。
計画	テスト計画のサマリーを表示します。 今週、今月、などの単位で特定のテスト計画の進捗、テスト結果を確認したい場合にご利用ください。

ユーザー

ユーザーの作業状況を確認する場合にこのカテゴリのレポートを使います。

レポート名	概要
作業負荷のサマリー	プロジェクト全体、特定のマイルストーン、または選択されたテスト ランにおけるユーザーの現在の作業負荷を表示します。 各ユーザーのテスト進捗率や、アサインされているテストのステータスを確認したい場合にご利用ください。

欠陥

様々な観点からテスト結果に登録した欠陥情報を確認する場合にこのカテゴリのレポートを使います。

レポート名	概要
ケースのサマリー	テストケースで見つかった欠陥のサマリーを表示します。 テストケースに紐づく欠陥情報と、テストのステータスを確認することができます。
サマリー	マイルストーン、テスト計画、または選択されたテストランで見つかった欠陥のサマリーを表示します。 欠陥 ID を軸に、欠陥 ID に紐づくテストの一覧とそのステータスを表示し、欠陥管理とテストを紐づけている場合に、テストの実施状況を確認することができます。
参照のサマリー	参照および関連するテスト ケースで見つかった欠陥のサマリーをカバレッジ マトリクスとして表示します。 要件と欠陥を紐づけて確認する場合にご利用ください。

結果

様々な観点からテスト結果を確認する場合にこのカテゴリのレポートを使います。

レポート名	概要
ケースの比較	テスト ケースの結果をカバレッジおよび比較マトリクスとして表示します。 1 つのテストケースに対して複数のテストランで実施したテスト結果を比較したい場合にご利用ください。
プロパティの分布	プロジェクト、マイルストーン、または特定のテスト ランにおけるテスト結果を選択可能な属性でグループ化して表示します。 例えば、ステータスやテスト担当者でグルーピングしたテスト結果を確認したい場合にご利用ください。

参照の比較	参照の結果をカバレッジおよび比較マトリクスとして表示します。 参照 ID を軸に、参照 ID と紐づくテストケースのテスト結果を、テストラン単位に確認する場合にご利用ください。
--------------	---

11. 外部連携

TestRail を課題管理ツール、要件管理ツールと連携したり、REST API を利用して外部から TestRail にアクセスすることができます。

本章では TestRail の外部連携について説明します。

☆Information☆

外部ツールとの連携には事前に管理者ユーザーによる設定が必要です。

設定方法は以下を参照してください。

・[TestRail 統合ガイド](#)

課題管理ツールとの連携

テスト実行中に発見されたバグ情報を元に、TestRail から課題管理ツール(Redmine や JIRA など)のチケットを新規に起票することができます。

連携の仕組みは 2 通りあります。

欠陥 URL

TestRail から課題管理ツールのチケット新規作成ページにジャンプして新しいバグ情報を登録することができます。

- テストの「結果の追加」画面の **欠陥 > 追加** リンクをクリックします。

結果の追加

ステータス *

Failed

テストステータスを設定します (Passed, Failed など)。

コメント

テスト結果の説明です。

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

アサイン

他のチームメンバーに割り当てます。

バージョン

テストしているバージョンです。

経過期間 開始

テストにかかった時間です。

欠陥 プッシュ **追加**

バグトラッカーのIDのリストです。

✓ 結果の追加 ✕ キャンセル

- 連携設定済みの課題管理ツールの新規バグ登録画面が開き、バグ情報を登録します。

- バグ情報が発行された ID を 欠陥 フィールドに登録します。

- 結果登録後、結果の一覧に登録した ID のリンクからバグ情報の画面に遷移できます。

欠陥プラグイン

TestRail から直接、課題管理ツールにバグ情報を登録することができます。

- テストの「結果の追加」画面の **欠陥** > **プッシュ** リンクをクリックします。

結果の追加

ステータス *

Failed

テスト ステータスを設定します (Passed、Failed など)。

コメント

テスト結果の説明です。

ファイルを添付するには、ここにドロップするか、クリックして参照します。

アサイン

他のチーム メンバーに割り当てます。

バージョン

テストしているバージョンです。

経過期間 開始

テストにかかった時間です。

欠陥 プッシュ 追加

バグトラッカーの ID のリストです。

✓ 結果の追加 ✗ キャンセル

- 連携設定済みの課題管理ツールの新規バグ登録用のダイアログ画面が開き、登録情報を入力します。(赤枠内の TestRail の URL は自動で挿入されます。)

欠陥のプッシュ

題名 *

Failed test: 全画面テスト (テキスト)

トラッカー * Project * ステータス *

Task 検証用 New

優先度 *

High

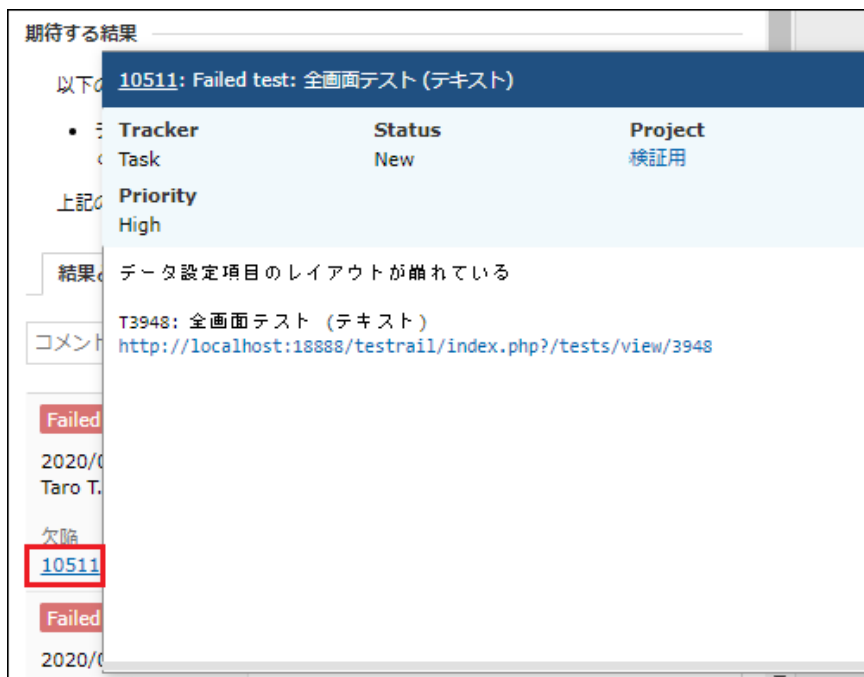
説明

データ設定項目のレイアウトが崩れている

T3948: 全画面テスト (テキスト)
http://localhost:18888/testrail/index.php?/tests/view/3948

✓ 登録 ✗ キャンセル

- 結果登録後、結果の一覧に登録した ID のリンクが表示され、カーソルをあてるとチケットの内容を確認できます。



【補足】登録されたチケット(課題管理ツール側)



要件管理ツールとの連携

要件管理ツールに登録された要件情報と TestRail のテストケースを紐づけて管理できます。
またテストケース登録時に新規の要件を、要件管理ツールに登録することもできます。

参照 URL

- テストケース追加画面の 参照 フィールドに要件 ID を設定します。(追加リンクから要件管理ツールを開いて新規に要件を登録することもできます。)



The screenshot shows the 'Add Case' form in TestRail. The 'Reference' field is highlighted with a red box and contains the value '10512'. Other fields include 'Section' (OO 変更), 'Template' (テストケース (テキスト)), 'Type' (マニュアル記載), 'Priority' (Medium), 'Automation Type' (None), and 'Visibility' (見張り).

- テストケース登録後、登録したのリンクから要件情報のページに遷移できます。

REST API

TestRail にはテスト管理を自動で行うために REST API が用意されています。

REST API を利用することで以下のことが可能になります。

- 自動テストからテスト結果、添付ファイルを登録する
- レガシーなシステムからテストケースを移行する
- 異なるシステム間でテストケースを共有する
- TestRail 上のマイルストーンやテストランを作成する

テストケース情報の取得例 (python)

- REST API (get_case) の呼び出し

```
client = APIClient('http://testrail/')
client.user = 'username'
client.password = 'password'
case = client.send_get('get_case/1')
pprint(case)
```


テスト結果の登録例 (python)

- REST API (add_result_for_case) の呼び出し

```
result = client.send_post(
    'add_result_for_case/1/1',
    { "status_id": 1, "comment": "This test worked fine!" }
)
pprint(result)
```

- 戻り値

```
{
  "id": 4563,
  "test_id": 3822,
  "status_id": 1,
  "created_by": 1,
  "created_on": 1581052893,
  "assignedto_id": null,
  "comment": "This test worked fine!",
  "version": null,
  "elapsed": null,
  "defects": null,
  "custom_step_results": null,
  "attachment_ids": []
}
```


12. その他

本章では TestRail を便利に使うための機能を説明します。

TODO タブ

TestRail のテストは担当者をアサインすることができます。

ユーザーは、自分にアサインされたテストの状況を TODO タブから確認することができます。

右側のフィールドを使ってフィルター条件を変更することで、自分自身だけでなくチームのメンバーに割り振られているテストの状況を確認することもできます。

The screenshot shows the TestRail interface with the 'TODO' tab selected. The main content area displays a progress bar for 'Taro T.' with 5 active items and a table of test runs. The right sidebar shows filter options for users and test results.

テストラン	アサイン状況	進捗率
SampleSuite_TestRun1 (2)	0 未アサイン	33%
WEB ブラウザ別テスト (18) (3)	0 未アサイン	0%

TODO タブからテストランのリンクをクリックすると、TODO タブのフィルター条件に一致したテストだけを表示することができます。

これにより、ユーザーは自分が担当するべきテストを円滑に進めることができます。

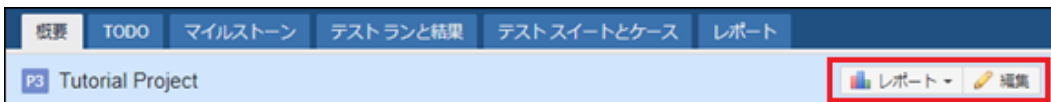


ツールバー

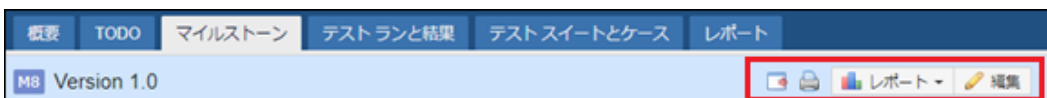
プロジェクトの概要、テストスイートとケース、マイルストーン、テストランなどの各画面の上部にはツールバーが配置されています。

ツールバーから、レポート出力、印刷、インポート/エクスポートなどを行うことができます。(画面毎に配置されている操作は異なります。)

- 概要
 - レポート: プロジェクトの情報をレポート出力する
 - 編集: プロジェクトの情報を編集する

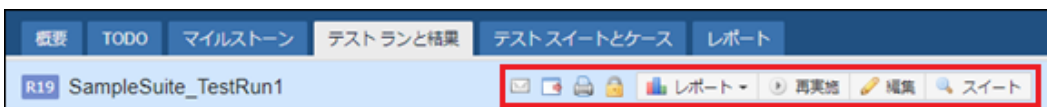


- マイルストーン
 - エクスポート: マイルストーンの内容を XML, CSV, EXCEL の形式でエクスポートする
 - 印刷: マイルストーンの内容を印刷する
 - レポート: マイルストーンの情報をレポート出力する
 - 編集: マイルストーンの情報を編集する



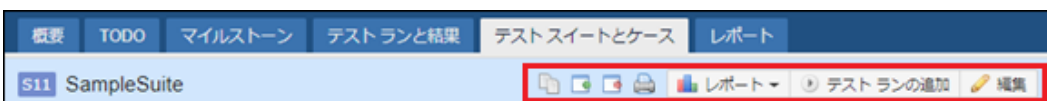
• テストラン

- E-mail: テストランの内容が変更されたときにメール通知を行う(クリックするとアイコンが変わります)
- エクスポート: テストランの内容を XML, CSV, EXCEL の形式でエクスポートする
- 印刷: テストランの内容を印刷する
- テストランのクローズ: テストランをクローズして変更不可の状態にする
- レポート: テストランの情報をレポート出力する
- 再実施: 同じ設定で新しいテストランを開始する
- 編集: テストランの情報を編集する
- スイート: このテストランが紐づくテストスイート画面に遷移する



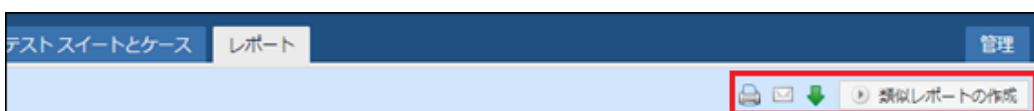
• テストスイートとケース

- ケースのコピーまたは移動: スイート内のテストケースを別のテストスイートにコピー、移動する
- インポート: CSV, XML で定義されたテストケースをインポートする
- エクスポート: テストケースを XML, CSV, EXCEL の形式でエクスポートする
- 印刷: テストスイートの内容を印刷する
- レポート: テストスイートの情報をレポート出力する
- テストランの追加: このテストスイートをもとにしたテストランを作成する
- 編集: テストスイートの情報を編集する



• レポート

- 印刷: レポートを印刷する
- E-mail: レポート E-mail 送付する
- ダウンロード: レポートを HTML, PDF の形式でダウンロードする
- 類似レポートの作成: このレポートと同じ設定のレポートを作成する



カスタムフィールド

TestRail のカスタマイズ機能を使って、テストケースやテスト結果の登録用画面にカスタムフィールドを追加することができます。

ビルトインのフィールドに用意されていない項目で、テストを管理する場合に利用してください。

カスタムフィールドは [管理] > [カスタマイズ] でから登録することができます。

ダッシュボード 管理

カスタマイズ

プロジェクト、ユーザー、グローバル設定を管理します。

概要

プロジェクト

ユーザーとロール

カスタマイズ

統合

ライセンス

システム ログ

サイト設定

ケースフィールド

名前	タイプ	システム	場所	
Estimate (estimate)	String	システム	最上部	✎
Milestone (milestone_id)	Milestone	システム (非アクティブ)	最上部	✎
References (refs)	String	システム	最上部	✎
自動化種別 (automation_type)	Dropdown	カスタム	最上部	✎
前提条件 (preconds)	Text	カスタム	最下部	✎
手順 (steps)	Text	カスタム	最下部	✎
期待する結果 (expected)	Text	カスタム	最下部	✎
手順 (steps_separated)	Step	カスタム	最下部	✎
Mission (mission)	Text	カスタム	最下部	✎
ゴール (goals)	Text	カスタム	最下部	✎

フィールドの追加

結果フィールド

名前	タイプ	システム	場所	
Version (version)	String	システム	右	✎
Elapsed (elapsed)	String	システム	右	✎
Defects (defects)	String	システム	右	✎
手順 (step_results)	Step Results	カスタム	左	✎

フィールドの追加

Information★

カスタマイズには TestRail の管理者権限が必要です。

ビルトインで用意されている項目名を変更することも可能ですが、タイプが**システム**の項目は変更できません。

カスタムフィールドは、プロジェクト毎に適用の可否を決定することができます。